

基礎研 レポート

欧州大手保険グループの 地域別の事業展開状況 —2022年決算数値等に基づく現状分析—

保険研究部 研究理事 中村 亮一
TEL: (03)3512-1777 E-mail: nryoichi@nli-research.co.jp

1—はじめに

欧州大手保険グループの2022年決算数値が、2023年2月から4月にかけて、投資家向けのプレゼンテーション資料やAnnual Report等の形で公表されている。今回のレポートでは、2022年決算に関わる各社の決算数値等に基づいて、欧州大手保険グループの生命保険事業を中心とした地域別の事業展開の状況について報告する。

欧州大手保険グループを巡る経営環境は、世界的な金融緩和の長期化に伴う低金利環境の継続、その後の急激な金利上昇に加えて、2016年1月にスタートしたソルベンシーIIをはじめとした各種の規制強化・整備への対応、2023年1月に開始する事業年度から適用されることになる新たな保険契約会計基準IFRS第17号への対応等、数多くの課題を抱えている状況にある。さらには、気候変動、パンデミック、DX(デジタルトランスフォーメーション)等といった新たな課題への対応やサステナビリティ経営への取組等も従前以上に求められてきている状況にある。各社ともこうした環境下で、それぞれの戦略に基づいた海外事業展開の拡大・再編等を進め、収益基盤の再構築を図ってきている。

[昨年の基礎研レポート](#)では、欧州大手保険グループの地域別の事業展開状況について、2021年決算数値等に基づく現状分析を報告した¹。

これまでの基礎研レポートでも述べてきたが、以下の報告においては、例えば、分析用に開示されている保険料や営業利益²のベースや地域別の区分の考え方が、各社によって異なっており、各社の公表データのベースも必ずしも統一されていない。さらに、セグメント情報の提供において、必ずしも生命保険事業と損害保険事業を区分していない会社もあり、また各種の規制の動向等も踏まえて、これまでとは異なる経営指標や評価基準に基づく開示内容に変更してきている会社もある。加えて、2021年決算報告時とは異なるベースで2022

¹ なお、2022年末のソルベンシーの状況については、筆者による、保険・年金フォーカス「欧州大手保険グループの2022年末SCR比率の状況について—ソルベンシーIIに基づく数値結果報告(1)及び(2)—」(2023.4.3及び4.4)を参照していただきたい。

² 各社によって、Operating ProfitやUnderlying Earnings等と英語の名称が異なるものを、このレポートでは、必ずしも正確ではなく、厳密な意味での同等な比較にはなっていないが、また本来的には「基礎利益」等と表現することがより適切なケースもあるかもしれないが、以下では、基本的には「営業利益」との表現を使用している。

年の決算報告を行っている会社もある。特に、2023年からは新たな保険契約の国際会計基準であるIFRS第17号が適用になることから、その実施を見据えての対応等も行われてきている。

以上のような理由から、今回の分析については、各種制約下で、各社間比較等も必ずしも十分なものとはなっていないが、筆者の判断で各種前提を置いて、一定比較可能と思われる数値を作成して分析を行っている³。そのため、各社がそれぞれの考え方に基づいて開示している地域別の事業状況等の数値が、このレポートで筆者が独自に採用したベースとは必ずしも一致していないケースもあることを述べておく。

なお、今回のレポートは、あくまでも地域別の事業展開に焦点を当てており、新契約実績や収益状況等の詳細については、別途のレポートで報告する。

2—欧州大手保険グループの各社間比較—全体の業績と地域別業績について—

欧州大手保険グループとしては、欧州の主要国を代表する保険グループとして、AXA(フランス)、Allianz(ドイツ)、Generali(イタリア)、Aviva(英国)、Aegon(オランダ)、Zurich(スイス)の6社を対象にしている。

AXA、Allianz、Aviva、Aegon及びGeneraliの5社は、これまで、FSB(Financial Stability Board:金融安定理事会)が選定していたG-SIIs(Global Systemically Important Insurers:グローバルなシステム上重要な保険会社)に指定されてきたことがある会社である⁴。なお、4年前までの基礎研レポートで含めていたPrudentialについては、2019年10月に、アジアと米国における保険事業を展開するPrudential plcと欧州における保険事業と投資管理事業を展開するM&G plcに分割され、さらに2021年9月には米国子会社だったJackson Nationalも完全に分離されたため、これまで、さらには2020年と同様なベースでの数値の取得ができなくなっている。ただし、引き続きPrudentialは世界を代表する保険グループとして重要なポジションを有しているため、参考として各種数値を掲載している。

なお、以下の図表の数値は、特に断りがない限り、各社の公表資料に基づいている。

1 | 会社全体の業績

次ページの図表は、欧州大手保険グループの保険料と営業利益の事業別内訳を示している。なお、AXAの場合、保険料の生保・損保別の内訳は開示されていないが、総収入(Gross Revenues)のうちの保険事業は100,514百万ユーロで、そのうち生命・貯蓄が31,515百万ユーロ、医療が17,418百万ユーロ、損害が51,581百万ユーロとなっている。

これからわかるように、今回報告の対象としている欧州大手保険グループは、生命保険事業と損害保険事業を展開し、さらに近年は、資産管理事業も会社によっては大きな位置付けを占めるようになってきている。ただし、グループ全体における生命保険事業と損害保険事業等のウェイトは、会社毎に異なっており、例えばAegonにおける損害保険事業は大きなものとはなっていない。

以下の分析では、主として、生命保険事業に焦点を当てて、各社の数値比較等を行っていくこととする。保険事業に関しても、例えばZurichの「Farmers」については分析の対象に含めていない。また、比較のため、各社が採用している経営指標等の数値に関わらず、営業利益に関しては「税引前」ベースに相当する数値を

³ 以下の図表においては、昨年報告した2021年数値についても、適宜2022年ベースに修正している。

⁴ FSBは2017年以降、G-SIIsのリストを公表していなかったが、2022年12月には、G-SIIsの年次特定を中止(discontinue)する、と公表している。

使用している。

欧州大手保険グループの生命保険・損害保険事業別内訳(2022年)

(単位:百万(ユーロ、ポンド、米ドル))

| グループ | 国 | 通貨 | 保険料 | | 生命保険 | | 損害保険 | | 営業利益 | | 生命保険 | | 損害保険 | | 資産管理 | |
|----------|-----|-----|--------|-----|--------|------|--------|------|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|
| | | | 進捗率 | 進捗率 | 進捗率 | 進捗率 | 進捗率 | 進捗率 | 進捗率 | 進捗率 | 進捗率 | 進捗率 | | | | |
| AXA | 仏 | ユーロ | 99,415 | 3% | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | 8,947 | 6% | 3,838 | 6% | 5,700 | 10% | 513 | 9% |
| Allianz | 独 | ユーロ | 83,912 | 8% | 25,033 | 2% | 58,878 | 11% | 14,164 | 6% | 5,282 | 5% | 6,189 | 8% | 3,199 | -8% |
| Generali | 伊 | ユーロ | 81,538 | 8% | 52,902 | 2% | 28,636 | 19% | 6,509 | 11% | 3,522 | 25% | 2,696 | 2% | 972 | -10% |
| Aviva | 英 | ポンド | 18,919 | -2% | 8,591 | -15% | 10,328 | 11% | 2,213 | -2% | 1,888 | 29% | 833 | 3% | 24 | -41% |
| Aegon | 蘭 | ユーロ | 14,761 | -4% | 14,617 | -3% | 144 | -64% | 1,918 | 1% | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | 253 | 0% |
| Zurich | スイス | 米ドル | 56,118 | 6% | 10,606 | -10% | 43,335 | 8% | 6,451 | 12% | 1,963 | 8% | 3,554 | 14% | N.A. | N.A. |

(※) 数字の単位は、AXA、Allianz、Generali、Aegonがユーロ、Avivaがポンド、Zurichが米ドル

保険料及び営業利益の全体数値には「その他」も含まれるため、生命保険と損害保険等の図表掲載の数値合計とは必ずしも一致しない。

医療保険の分類は各社によって異なる(例えば、AXA、Allianz、Avivaは生命保険、Aegonは損害保険)。

AXA : 保険料は「Gross written premiums」、営業利益等は「underlying earnings before tax」(持株その他が▲1,104)

Allianz : 保険料は「Premiums earned」、営業利益は「operating profit」(会社その他が▲507)

Generali : 保険料は「Gross written premiums」、営業利益は「operating results」(持株その他が561、調整▲681)

Aviva : 保険料は「Gross written premiums」(保険契約8,581と有配当投資契約10の合計)、営業利益は「Group adjusted operating profit before tax attributable to shareholders' profits」(会社その他▲532)

Aegon : 保険料は「Gross premiums」、営業利益は、基礎利益「underlying earnings before tax」、医療・傷害保険料1,769は生命保険に含めている。

Zurich : 保険料は「Gross written premiums」、営業利益は「Business operating profit」

Zurichにおいては、上記以外に「Farmers」が、保険料1,843、営業利益1,909と大きな位置付けを占めている。

以下の図表は、各社がグループ全体の指標として提示している ROE (Return on Equity: 資本収益率) の状況を示している。この ROE の数値の算出方法等についても、各社間で統一されているわけではないが、あくまでも会社によっては経営目標の1つとなって、その達成の有無が取締役の報酬にも関係する項目となっているので、参考として掲載しておく。

ROE については、基本的には各社はグループ全体の数値のみを開示している。生命保険事業以外のウェイトもかなり高い4社のうち、Allianz のみが生命保険事業の数値を公表している。なお、AXA や Generali は EV (Embedded Value) に対するリターンという形で、以前は生命保険事業に対する ROE も開示していたが、2017 年以降は両社とも開示していない。

これによれば、2022 年の各社の ROE は 8% から 17% と幅広い範囲にあり、2021 年との比較では、AXA はほぼ同水準、Aviva が大きく上昇、Allianz と Aegon が低下、Zurich が上昇となっている。

欧州大手保険グループのROE(資本収益率)

| グループ | 2020年 | | 2021年 | | 2022年 | | 目標(レンジ) |
|----------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------------|
| | うち生命保険 | うち生命保険 | うち生命保険 | うち生命保険 | うち生命保険 | うち生命保険 | |
| AXA | 9.5(9.9%) | — | 14.7% | — | 14.5% | — | 13%~15%(2021~2023) |
| Allianz | 11.4% | 12.8% | 10.6% | 13.0% | — | 11.2% | 13%超 |
| Generali | 7.7% | — | 12.1% | — | N.A. | — | N.A. |
| Aviva | 12.3%(9.8%) | — | 11.3% | — | 16.4% | — | N.A. |
| Aegon | 8.4% | — | 9.2% | — | 8.2% | — | N.A. |
| Zurich | 11.0% | — | 14.0% | — | 15.7% | — | 14%超(2020~2022) |

(※) 各社のROEについては以下の通り

AXAは「Underlying ROE」(2020年の()内は2019年ベースの数値)、Allianzは「Return on equity」、Generaliは「Operating ROE」

Avivaは「Solvency II Return on equity」(2020年の()内は2019年ベースの数値)

Aegonは「Return on Equity」(=Net underlying earnings/Average capital in units excluding revaluation reserve)

Zurichは「BOPAT ROE(Business Operating Profit after tax return on shareholders' equity)」

2 | 保険事業の地域別業績

ここでは、各社のセグメント情報に基づいて、保険事業に関する保険料と営業利益⁵の地域別内訳を見ている⁶⁷。

2-1. 保険料の状況

まずは、保険料の地域別内訳を見てみる。ここでの保険料の数値には、例えばユニット・リンク等の投資型保険からの収入が反映されていなかったりするが、各社の地域間の分布等を比較するための1つの基準として採用している。

(1)2022年の結果

これによれば、各社毎に状況は異なっているが、各社とも自国（親会社国）以外からの保険料が一定の規模を有しており、自国以外での事業が大きな位置付けを有している。なお、Avivaの場合、欧州事業の売却等により、英国&アイルランドが8割程度を占める形になっている。

欧州大手保険グループの保険料の地域別内訳(2022年)

(単位:百万(ユーロ、ポンド、米ドル))

| グループ | 国 | 通貨 | 保険料 | | 親会社国 | | | | 米州 | | アジア・太平洋 | | その他 | | | |
|--------------|-----|-----|--------|------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|---------|-----|---------|------|---------|-----|
| | | | 保険料 | 構成比 | 欧州 | 構成比 | 親会社国 | 構成比 | 親会社国以外 | 構成比 | 米州 | 構成比 | アジア・太平洋 | 構成比 | その他 | 構成比 |
| AXA | 仏 | ユーロ | 99,415 | 100% | 62,739 | 63% | 29,403 | 30% | 33,336 | 34% | 19,199 | 19% | 11,511 | 12% | 5,966 | 6% |
| Allianz(生保) | 独 | ユーロ | 25,033 | 100% | 19,491 | 78% | 12,589 | 50% | 6,902 | 28% | 1,625 | 6% | 3,237 | 13% | 680 | 3% |
| Allianz(損保) | 独 | ユーロ | 58,878 | 100% | 39,659 | 67% | 9,396 | 16% | 30,263 | 51% | 1,926 | 3% | 4,948 | 8% | 12,345 | 21% |
| Generali(生保) | 伊 | ユーロ | 52,902 | 100% | 47,001 | 89% | 19,829 | 37% | 27,172 | 51% | 585 | 1% | 4,196 | 8% | 1,120 | 2% |
| Generali(損保) | 伊 | ユーロ | 28,636 | 100% | 23,403 | 82% | 8,492 | 30% | 14,911 | 52% | 2,063 | 7% | 861 | 3% | 2,308 | 8% |
| Aviva | 英 | ポンド | 18,919 | 100% | 14,880 | 79% | 14,880 | 79% | — | — | 4,009 | 21% | N.A. | N.A. | — | — |
| Aegon | 蘭 | ユーロ | 14,761 | 100% | 7,296 | 49% | 1,569 | 11% | 5,727 | 39% | 8,735 | 59% | N.A. | N.A. | (1,270) | -9% |
| Zurich(生保) | スイス | 米ドル | 10,606 | 100% | 5,735 | 54% | 920 | 9% | 4,815 | 45% | 2,545 | 24% | 2,325 | 22% | 0 | 0% |
| Zurich(損保) | スイス | 米ドル | 43,335 | 100% | 17,806 | 41% | 4,276 | 10% | 13,530 | 31% | 23,878 | 55% | 3,465 | 8% | (1,814) | -4% |

※ 各社のAnnual Report等より、筆者が作成。「その他」には、地域間の調整や再保険・国際部門等の地域区分が行われていないものが含まれる。

「保険料」としては、Allianzの生命保険料とZurichの損害保険料以外は、Gross written premiumを使用している。Allianzの生命保険料及びその内訳は、正味経過保険料(Premiums earned(net))による。Zurichの損害保険料は、契約手数料を含む数値。

AXAの「米州」には、「AXA XL」を、「その他」には「International」を含めている。

Allianz(損保)の「その他」には、Allianz Partners AGCS、Euler Homes、Reinsurance PC及びアフリカ、中東を含んでいる。Allianz Directは「欧州」のその他として含めている。

Generaliの「米州・南欧」は、全て「米州」に含めている。

Avivaの「親会社国」は、英国&アイルランドの数値。「Manege-for-sale市場」には、アジアも含まれているが、欧州が太宗を占めているため、全てを欧州に含めている。

Aegonの「国際(南欧・中東欧・アジア・TLB(富裕層向けビジネス)等)は、南欧とTLBが中心のため「欧州」に含めている。「その他」には関連会社及びJVによるEliminations(消去)が含まれる。

Zurichの「欧州・中東・アフリカ」は、全て「親会社国以外の欧州」に含めている。「その他」にはセグメント間の取引等に伴うEliminations(消去)が含まれる。

各社別の地域別の構成比の概要は、以下の通りとなっている。

AXAは、自国のフランスが30%、フランス以外の欧州が34%、アジア・太平洋が12%となっている。なお、その他には国際(International)の数値を含めている。

Allianzの生保は、自国のドイツで50%、ドイツ以外の欧州で28%となっているが、米国中心の米州やアジ

⁵ 保険事業に焦点を当てているため、「営業利益」においては、基本的には資産管理事業等を除いているが、各社数値の図表等においては資産管理事業等の保険事業以外も含んで、「その他」に含まれている場合もある(Aegon)。

⁶ 地域区分は、基本的に引受会社の所属国に基づいている。

⁷ 2022年の数値算出において、会社によっては、地域別のセグメントの変更や算出方法等の変更を行っているケースもあり、これに伴い、昨年の基礎研レポートで報告した2021年の数値を変更している場合もある。

ア・太平洋も有意な水準となっている(なお、「3—2 | Allianz」で述べるように、法定保険料ベースでは、米国のシェアは20%とより高いものとなっている)。損保では、国際部門や再保険の数値が含まれていることから「その他」の割合が21%と高くなっている。

Generaliの生保は、自国のイタリアが37%、イタリア以外の欧州で51%と高くなっており、欧州以外の構成比は11%に留まっている。

Avivaは、基本的には英国とアイルランド以外の欧州事業を売却したため、英国及びアイルランドの合計が79%、カナダの損保事業である米州が21%となっている。

Aegonの場合、自国のオランダは11%で、オランダ以外の欧州が39%となっているが、米国及び中南米を含む米州が59%と、他社に比べてかなり高い水準になっている。

Zurichは、自国のスイスが生保で9%、損保で10%、スイス以外の欧州が生保で45%、損保で31%となっている。中南米を中心とした米州が生保で24%、損保で55%と、Aegonと同様に、これらの地域の構成比がかなり高くなっている。さらに、アジア・太平洋も、生保で22%、損保で8%と有意な水準になっている。

保険料という指標で見た場合、アジア・太平洋の構成比は、近年上昇傾向にあり、AXA、Allianzの生保及びZurichの生保では1割を超える水準になっている。

(2)2021年との比較

保険料の進展が必ずしも収益の拡大に結びつくものではないが、あくまでも参考として2021年との比較を見てみると、以下の図表の通りとなっている。

各社とも事業地域の再編等を行っていることもあり、前年との単純な比較が難しくなっている。また決算数値を前年と比較する場合においては、為替レートの変化による影響も小さくないことに注意が必要になる。会社によっては、Annual Report等の業績説明において、為替レートを前年ベースとした場合の進展率等の数字も開示している。

欧州大手保険グループの保険料の地域別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進展率) (単位:百万(ユーロ、ポンド、米ドル))

| グループ | 国 | 通貨 | 保険料 | | 欧州 | | 親会社国 | | 親会社国以外 | | 米州 | | アジア・太平洋 | | その他 | |
|--------------|-----|-----|--------|------|---------|------|---------|-----|---------|------|-------|-----|---------|------|---------|------|
| | | | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 |
| AXA | 仏 | ユーロ | 2,590 | 3% | 2,004 | 3% | 1,020 | 4% | 984 | 3% | 457 | 2% | 200 | 2% | (71) | -1% |
| Allianz(生保) | 独 | ユーロ | 431 | 2% | (269) | -1% | (530) | -4% | 261 | 4% | 247 | 18% | 423 | 15% | 32 | 5% |
| Allianz(損保) | 独 | ユーロ | 5,824 | 11% | 7,247 | 22% | 269 | 3% | 6,978 | 30% | 321 | 20% | 798 | 19% | (2,542) | -17% |
| Generali(生保) | 伊 | ユーロ | 1,222 | 2% | 877 | 2% | 1,158 | 6% | (281) | -1% | 144 | 33% | 685 | 20% | (482) | -30% |
| Generali(損保) | 伊 | ユーロ | 4,491 | 19% | 2,926 | 14% | 2,038 | 32% | 888 | 6% | 279 | 16% | 546 | 173% | 739 | 47% |
| Aviva | 英 | ポンド | -479 | -2% | (1,063) | -7% | (1,063) | -7% | — | — | 554 | 16% | N.A. | N.A. | — | — |
| Aegon | 蘭 | ユーロ | -683 | -4% | (826) | -10% | (144) | -8% | (682) | -11% | 354 | 4% | N.A. | N.A. | (210) | — |
| Zurich(生保) | スイス | 米ドル | -1,185 | -10% | (1,213) | -17% | (96) | -9% | (1,117) | -19% | 170 | 7% | (142) | -6% | 0 | — |
| Zurich(損保) | スイス | 米ドル | 3,212 | 8% | (39) | 0% | 98 | 2% | (137) | -1% | 3,057 | 15% | 242 | 8% | (48) | — |

2-2. 営業利益の状況

次に、保険事業の営業利益の地域別内訳を見てみる。地域別の利益配分等にも各社の考え方が反映されているが、各国における子会社毎や各社間の収益状況の差異等も一定程度比較できるものと考えられる。なお、一般的には、国際部門や再保険関係の損益が「その他」に含まれていることから、グループによっては「その他」の構成比が、特に損保事業を中心に大きくなっており、その数値も比較的大きく変動している。

(1)2022 年の結果

営業利益ベースでも、各社の地域別の構成比の状況は、保険料と基本的には大きくは変わっていないが、地域別の収益状況や各地域での深耕度等を反映して、若干異なる傾向となっている。

各社別の地域別の構成比の概要は、以下の通りとなっている。

AXA の生保は、日本の貢献が大きく、アジア・太平洋が 32%と高くなっている。

Allianz の生保は、米国が 22%と高くなっているが、アジア・太平洋は構成比を高めてきて 10%となっている。

Generali の生保は、イタリアが 43%、イタリア以外の欧州が 52%で、合計では 95%となって、保険料の構成比よりも高くなっており、営業利益ではより欧州に依存した形になっている。

Aviva は、英国とアイルランドでの営業利益が大半を占め、カナダの米州が 20%となっている。

Aegon は、オランダが 41%、英国中心のその他の欧州が 19%で、米国及び中南米を含む米州の営業利益が 41%と高くなっている。

Zurich の生保は、スイスが 15%、スイス以外の欧州が 47%となっているが、アジア・太平洋が 17%であることに加えて、中南米を中心とした米州が 21%で、これらの地域の構成比も高くなっている。

営業利益という指標で見た場合には、アジア・太平洋の構成比は、AXA が 32%、Zurich が 17%と高くなっているが、Allianz、Generali、Aviva、Aegon については、その会社全体における位置付けを高めてきてはいるものの、いまだその構成比は 1 割程度以下に留まっている。

欧州大手保険グループの保険事業の営業利益等の地域別内訳(2022年)

(単位:百万(ユーロ、ポンド、米ドル))

| グループ | 国 | 通貨 | 営業利益等 | | 欧州 | | | | 米州 | | アジア・太平洋 | | その他 | | | |
|--------------|-----|-----|-------|------|-------|------|-------|------|--------|-----|---------|-----|-------|------|-------|------|
| | | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 親会社国 | 構成比 | 親会社国以外 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| AXA(生保) | 仏 | ユーロ | 3,838 | 100% | 2,561 | 67% | 1,100 | 29% | 1,461 | 38% | 2 | 0% | 1,212 | 32% | 63 | 2% |
| AXA(損保) | 仏 | ユーロ | 5,700 | 100% | 3,562 | 62% | 1,301 | 23% | 2,261 | 40% | 1,580 | 28% | 129 | 2% | 429 | 8% |
| Allianz(生保) | 独 | ユーロ | 5,282 | 100% | 3,555 | 67% | 1,528 | 29% | 2,027 | 38% | 1,153 | 22% | 532 | 10% | 42 | 1% |
| Allianz(損保) | 独 | ユーロ | 6,189 | 100% | 4,035 | 65% | 1,402 | 23% | 2,633 | 43% | (44) | -1% | 496 | 8% | 1,702 | 28% |
| Generali(生保) | 伊 | ユーロ | 3,522 | 100% | 3,334 | 95% | 1,512 | 43% | 1,822 | 52% | 100 | 3% | 192 | 5% | (74) | -2% |
| Generali(損保) | 伊 | ユーロ | 2,696 | 100% | 2,222 | 82% | 802 | 30% | 1,420 | 53% | 140 | 5% | 59 | 2% | 275 | 10% |
| Aviva | 英 | ポンド | 2,213 | 100% | 2,246 | 101% | 2,246 | 101% | — | — | 433 | 20% | N.A. | N.A. | (414) | -19% |
| Aegon | 蘭 | ユーロ | 1,918 | 100% | 1,156 | 60% | 783 | 41% | 373 | 19% | 790 | 41% | N.A. | N.A. | (28) | -1% |
| Zurich(生保) | スイス | 米ドル | 1,963 | 100% | 1,214 | 62% | 285 | 15% | 929 | 47% | 407 | 21% | 331 | 17% | 11 | 1% |
| Zurich(損保) | スイス | 米ドル | 3,554 | 100% | 1,204 | 34% | 283 | 8% | 921 | 26% | 2,200 | 62% | 300 | 8% | (150) | -4% |

※ 各社のAnnual Report等より、筆者が作成。

「営業利益等」としては、各社の以下の数値を使用、

AXA「underlying earnings before tax from insurance activities」、Allianz「operating profit」、Generali「operating results」、

Prudential「operating profit before tax for long-term business」、Aviva「Group adjusted operating profit before tax attributable to shareholders' profit」、

Aegon「Underlying earnings before tax」、Zurich「Business operating profit」

「その他」には、地域間の調整や再保険・国際部門等の地域区分が行われていないものがある。各社の数値で区分できないものうち、主要な地域に区分しているものもある。

AXAの「米州」には、「AXA XL」を、「その他」には「International」を含めている。

Allianz(損保)の「その他」には、Allianz Partners, AGCS, Euler Homes, Reinsurance PC及びアフリカ、中東を含んでいる。Allianz Directは「欧州」のその他として含めている。

Generaliの「米州・南欧」は、全て「米州」に含めている。

Avivaの「親会社国」は、英国&アイルランドの数値。「その他」にはCorporate centre costsやGroup debt costs等が含まれる。

Aegonの「国際」(南欧・中東欧・アジア・TLB(富裕層向けビジネス)等)は、南欧とTLBが中心のため「欧州」に含めている。なお、「国際」のうち中国は24(2020年は18)。

Zurichの「欧州・中東・アフリカ」は、全て「親会社国以外の欧州」に含めている。Zurich(損保)の「その他」はグループ再保険が含まれる。

(2)2021 年との比較

営業利益における 2021 年との比較についても、各社とも事業地域の再編等を行ってきていることから、前年との単純な比較が難しくなっている。また営業利益の決算数値についても、前年と比較する場合においては、特に中南米地域の業績において、為替レートの変化による影響も小さくないことに注意

が必要になる。

欧州大手保険グループの保険事業の営業利益等の地域別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進展率) (単位:百万(ユーロ、ポンド、米ドル))

| グループ | 国 | 通貨 | 営業利益等 | | 欧州 | | | 親会社国以外 | | 米州 | | アジア・太平洋 | | その他 | | |
|--------------|-----|-----|-------|-----|------|-----|------|--------|-------|------|-------|---------|------|------|-------|------|
| | | | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | | |
| AXA(生保) | 仏 | ユーロ | 153 | 4% | 93 | 4% | (52) | -5% | 145 | 11% | (3) | -60% | 14 | 1% | 49 | 350% |
| AXA(損保) | 仏 | ユーロ | 503 | 10% | 333 | 10% | 110 | 9% | 223 | 11% | 200 | 14% | 33 | 34% | (63) | -13% |
| Allianz(生保) | 独 | ユーロ | 271 | 5% | 348 | 11% | 53 | 4% | 295 | 17% | (248) | -18% | 89 | 20% | 83 | - |
| Allianz(損保) | 独 | ユーロ | 479 | 8% | 176 | 5% | 262 | 23% | (86) | -3% | (89) | - | 58 | 13% | 334 | 24% |
| Generali(生保) | 伊 | ユーロ | 706 | 25% | 554 | 20% | 230 | 18% | 324 | 22% | 47 | 89% | 13 | 7% | 125 | - |
| Generali(損保) | 伊 | ユーロ | 46 | 2% | (38) | -2% | 148 | 23% | (186) | -12% | (28) | -17% | 41 | - | 70 | 34% |
| Aviva | 英 | ポンド | (52) | -2% | 462 | 26% | 462 | 26% | - | - | 27 | 7% | N.A. | N.A. | (489) | - |
| Aegon | 蘭 | ユーロ | 12 | 1% | 72 | 7% | 28 | 4% | 44 | 13% | 2 | 0% | N.A. | N.A. | (61) | - |
| Zurich(生保) | スイス | 米ドル | 151 | 8% | 17 | 1% | (38) | -12% | 55 | 6% | 154 | 61% | (16) | -5% | (4) | -27% |
| Zurich(損保) | スイス | 米ドル | 433 | 14% | 382 | 46% | 94 | 50% | 288 | 45% | 258 | 13% | 65 | 28% | (271) | - |

3—欧州大手保険グループ各社の地域別の事業展開状況

ここでは、欧州大手保険グループ各社の生命保険事業について、保険料、営業利益に加えて、資産、EV (Embedded Value)⁸及び新契約価値等の状況を地域別に報告する。

さらに、各社の地域別の事業展開に関するトピックについても報告する。これについては、保険年金フォーカス「[欧州大手保険グループの 2022 年末 SCR 比率の状況について\(3\) —ソルベンシー II に基づく数値結果報告\(資本取引等\) —](#)」(2023.4.7)から、地域別の事業展開に関する記述を抜粋している。

なお、以下の記述における前年との比較の説明においては、ベースの違い等により、筆者作成による図表の数値と会社の説明用の数値が必ずしも一致していないケースもあり、その場合には基本的には会社説明の数値に基づいていることを述べておく。また、新契約価値に関する前年比較については、次回の新契約業績に関する基礎研レポートで述べることとする。

1 | AXA

AXA は、世界の 51 カ国で保険事業と資産管理事業を展開している。

AXA は、中国、インドネシア、フィリピン、タイを「Asia High Potentials」として位置付けていたが、インドネシア、タイ、フィリピンでは既に高いプレゼンスを有している。さらに、メキシコとブラジルを「High Potentials」と位置付けている。

なお、AXA は 2018 年 3 月に、XL Group を 153 億ドルで買収し、年間保険料総額 300 億ユーロを有する世界的な損害保険会社を構築することを公表し、この買収について、当時の Thomas Bubert CEO は、「L&S(生命及び貯蓄保険)事業中心から、P&C(損害保険)事業中心に、そのビジネスプロファイルを移行していく独特の戦略的機会である。」とし、「将来の AXA のプロファイルは、金融リスクから離れて、保険リスクに向かって大きくリバランスされていくことになる。」と述べていた。

⁸ 欧州大手保険グループは、これまで EEV (ヨーロッパ EV) と MCEV (市場整合的 EV) のいずれかに基づく EV (Embedded Value : エンベデッド・バリュー) を地域別や各国別に公表してきたが、ソルベンシー II 導入後の 2017 年以降は公表しない会社やグループ全体又は地域別の数値のみの公表に留める会社もある等 EV の開示の見直しを行っている。さらには IFRS 第 17 号の適用に伴う見直しも検討されてきている。

また、XL Group の買収及び Equitable の売却完了により、このリスクプロファイルの変換が進み、さらに金融市場に対してあまり感応的でない損害保険、医療及び保障事業を加速していく、としていた。

(1)地域別の業績－2022年の結果－

自国のフランスの構成比は、多くの指標で3割弱程度となっている。自国以外の欧州では、ドイツ、スイス、ベルギー、イタリア、スペインや英国&アイルランドで有意な水準となっている。

米州においては、AXA Equitable の売却により、米国の生命保険及び貯蓄市場から撤退しており、AXA XL の損保事業が中心になっている。

アジアの構成比は、営業利益(生命・貯蓄・医療)では32%(2021年は33%、2020年は34%)、新契約価値では47%(2021年は43%、2020年は40%)となっている。

なお、AXA は、EEV をかつては国別に開示していたが、2017年以降は地域別のみの開示となっている。

保険事業の地域別内訳(2022年)

(単位:百万ユーロ)

| | 全体 | | 欧州 | | アジア | | AXA XL | | 国際 | | その他 | |
|----------------|---------|------|---------|-----|--------|-----|--------|------|-------|-----|--------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 保険料 | 99,415 | 100% | 62,739 | 63% | 11,511 | 12% | 19,199 | 19% | 5,021 | 5% | 945 | 1% |
| 総収入(生命・貯蓄・医療) | 48,933 | 100% | 36,885 | 75% | 9,351 | 19% | 161 | 0% | 2,080 | 4% | 455 | 1% |
| 営業利益 | 9,538 | 100% | 6,123 | 64% | 1,341 | 14% | 1,580 | 17% | 406 | 4% | 87 | 1% |
| 営業利益(生命・貯蓄・医療) | 3,838 | 100% | 2,561 | 67% | 1,212 | 32% | 2 | 0% | 24 | 1% | 39 | 1% |
| 基礎利益(生命・貯蓄・医療) | 3,246 | 100% | 2,017 | 62% | 1,176 | 36% | 2 | 0% | 20 | 1% | 32 | 1% |
| 投資資産 | 547,560 | 100% | 402,903 | 74% | 77,852 | 14% | 39,168 | 7% | 8,936 | 2% | 18,709 | 3% |
| EEV | 51,200 | 100% | 32,500 | 63% | 16,600 | 32% | N.A. | N.A. | 500 | 1% | 1,600 | N.A. |
| 新契約価値 | 2,225 | 100% | 1,155 | 52% | 1,048 | 47% | - | - | 21 | 1% | - | - |

※ 「営業利益」は、「underlying earnings before tax from insurance activities」

「基礎利益」は「underlying earnings」(税・関連会社損益、少数株主持分反映後)

「EEV」と「新契約価値」は、生命保険・貯蓄・医療等に対するもの

「国際(International)」には、シンガポール、マレーシア、インドに加えて、欧州、中東、アフリカ、ラテンアメリカからの20か国以上が含まれている。

「その他」は、Transversal & General Holdingsの数値。

「アジア」の数値の内訳、総収入(生命・貯蓄・医療)(日本5,026、香港4,129、その他196)、営業利益(日本784、香港532、その他▲27)、

営業利益(生命・貯蓄・医療)(日本735、香港484、その他▲5)、基礎利益(生命・貯蓄・医療)(日本517、香港465、その他193)

うち 欧州の主要国別内訳

(単位:百万ユーロ)

| | フランス | | ドイツ | | スイス | | ベルギー | | イタリア | | スペイン | | 英国 アイルランド | |
|----------------|---------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|-------|------|--------------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 保険料 | 29,403 | 30% | 11,550 | 12% | 5,560 | 6% | 3,578 | 4% | 4,407 | 4% | 2,717 | 3% | 5,758 | 6% |
| 総収入(生命・貯蓄・医療) | 21,103 | 43% | 6,939 | 14% | 1,943 | 4% | 1,326 | 3% | 2,518 | 5% | 1,036 | 2% | 2,020 | 4% |
| 営業利益 | 2,401 | 25% | 892 | 9% | 1,267 | 13% | 456 | 5% | 433 | 5% | 262 | 3% | 411 | 4% |
| 営業利益(生命・貯蓄・医療) | 1,100 | 29% | 307 | 8% | 324 | 8% | 314 | 8% | 200 | 5% | 126 | 3% | 190 | 5% |
| 基礎利益(生命・貯蓄・医療) | 915 | 28% | 232 | 7% | 285 | 9% | 248 | 8% | 89 | 3% | 94 | 3% | 154 | 5% |
| 投資資産 | 190,985 | 35% | 77,585 | 14% | 48,894 | 9% | 32,627 | 6% | 35,318 | 6% | 9,142 | 2% | 8,352 | 2% |
| EEV | 15,200 | 30% | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |
| 新契約価値 | 615 | 28% | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |

※ フランス以外の各国の保険料数値は、取得可能なGross Revenues 33,570の内訳数値(これらの国々の保険料合計は 33,336)で代替している。

Annual Report によれば、生命保険と損害保険の市場シェア及びポジションについては、以下の通りとなっており、欧州やアジアの国々で高いプレゼンスを確保している。

例えば、日本について、そのシェア(かんぽ生命除きの2022年9月末までの12か月ベース)は、生命保

険は 5.0% (2021 年は 5.1%、2020 年 3.9%、以下同様) で第 9 位 (第 7 位、第 11 位) となっており、その市場規模から、2022 年の営業利益 (生命・貯蓄・医療) は 735 億円で、AXA グループ全体の営業利益 (生命・貯蓄・医療) 3,838 億円の 19.2% (21.7%、21.7%) を占めて、高い位置付けを有している。

AXAの事業地域におけるランキングと市場シェア

| | 2022年報告 | | | | 2021年報告 | | | | データソース (2022年報告の場合) |
|--------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|---|
| | 損害保険 | | 生命保険 | | 損害保険 | | 生命保険 | | |
| | ランキング | 市場シェア | ランキング | 市場シェア | ランキング | 市場シェア | ランキング | 市場シェア | |
| フランス | 2 | 12.9 | 3 | 8.4 | 2 | 12.9 | 3 | 8.4 | 2022年12月31日現在のFFA |
| スイス | 1 | 13.3 | 4 | 7.8 | 1 | 13.3 | 4 | 7.6 | 2023年1月31日現在のSIA (スイス保険協会) の数値による法定保険料と市場推定に基づく市場シェア |
| ドイツ | 6 | 4.8 | 8 | 3.4 | 6 | 5.0 | 9 | 3.3 | 2021年12月31日現在のGDV |
| ベルギー | 1 | 17.7 | 4 | 8.7 | 1 | 18.9 | 4 | 8.0 | 2022年9月末の収入保険料に基づくAssuralia |
| 英国 | 4 | 8.2 | n/a | n/a | 3 | 8.1 | n/a | n/a | UK General Insurance : Competitor Analytics 2021、グローバルデータ、2021年12月31日現在 |
| アイルランド | 1 | 31.9 | n/a | n/a | 1 | 28.8 | n/a | n/a | 2021年12月31日現在のInsurance Ireland P&C Statistics 2021 |
| スペイン | 5 | 4.9 | 9 | 3.1 | 5 | 5.1 | 6 | 3.2 | スペイン保険会社協会。2021年12月31日現在のICEA |
| イタリア | 5 | 5.8 | 9 | 3.9 | 5 | 5.7 | 5 | 4.5 | 2021年12月31日現在のANIA |
| 日本 | 13 | 0.6 | 9 | 5.0 | 13 | 0.6 | 7 | 5.1 | 2022年9月30日までの12か月の開示財務報告 (除くかんぽ生命) |
| 香港 | 1 | 7.0 | 7 | 5.0 | 1 | 6.8 | 8 | 5.1 | 2022年9月30日現在の収入保険料に基づく当局統計 |
| XL(米国) | 16 | 1.8 | n/a | n/a | 15 | 1.8 | n/a | n/a | 企業保険の米国における2021年12月31日現在のAM Best 2020 |
| XL再保険 | 14 | 2.3 | n/a | n/a | 13 | 2.5 | n/a | n/a | 2021年12月31日現在のAM Best 2020 |
| タイ | 18 | 1.8 | 5 | 7.2 | 20 | 1.6 | 6 | 7.4 | 2022年12月31日現在のTGIA (タイ損害保険協会) 2022年11月30日現在のTLAA (タイ生命保険協会) |
| インドネシア | n/a | n/a | 2 | 8.7 | n/a | n/a | 5 | 7.7 | 2022年9月30日現在の加重新契約保険料で測定されたAAJI統計 |
| フィリピン | n/a | n/a | 6 | 8.6 | n/a | n/a | 2 | 12.7 | 2022年3月31日現在の総保険料収入で測定されたInsurance Commission |
| 中国 | n/a | 0.4 | n/a | n/a | 26 | 0.4 | 21 | 0.9 | 2022年3月31日現在のCBIRC |
| メキシコ | 3 | 8.0 | 12 | 2.0 | 3 | 8.4 | 11 | 2.2 | 2022年9月30日現在のAMIS |
| ブラジル | 15 | 1.4 | n/a | n/a | 25 | 0.6 | n/a | n/a | 2022年9月13日現在のSUSEP |

(出典) AXA Annual Report に基づく。

(2)地域別の業績－2021年との比較－

総収入 (生命・貯蓄・医療) は、6%増加して、489 億 3,300 万ユーロとなった。

このうち、総収入 (生命・貯蓄) は、比較ベース (為替と買収・売却・事業譲渡、会計原則の変更等を調整) で 5% (又は 18 億 900 万ユーロ) 減少し、315 億 1,500 万ユーロだった。

- ・一般勘定貯蓄は 13% (又は 13 億 1,600 万ユーロ) 減少した。主な要因は (i) フランス (▲12%) において、Eurocroissance の継続的な成長により相殺されたものの、2021 年のような 1 つの大規模なグループ年金契約がなかったこと、(ii) イタリア (▲17%) において、困難な市場環境での銀行チャネルを通じた売上が減少したこと、(iii) 日本 (▲30%) は主として 2021 年のキャピタルライトな一時払終身保険の高い販売が繰り返されなかったことによる。
- ・ユニットリンクは、主に (i) フランス (▲12%) における減少、(ii) 香港 (▲56%) は、COVID-19 危機に関連して中国本土との国境が引き続き閉鎖されたことによる売上の減少による。
- ・保障は、主に日本 (+11%) におけるユニットリンク型保障の好調な売上により、3% (+4 億 400 万ユーロ) 増

加した。

また、医療の総収入は、比較ベースで 16% (+24 億 2,600 万ユーロ)増加し、174 億 1,800 万ユーロとなった。

・団体保険は、主に (i) フランス(+34%)において、主として 2023 年には更新されなかった 2 つの大型契約により、28%(+19 億 3,100 万ユーロ)増加、および (ii) 英国 (+17%) は継続率の改善による。

・個別保険は、ドイツ(+4%)、メキシコ(+14%)、トルコ (+127%) (主として料率引き上げによる)の好調により、6%(+4 億 9,500 万ユーロ)増加した。

基礎利益(生命・貯蓄・医療)は 8%増加して、32 億 4,600 万ユーロとなった。

そのうち、基礎利益(生命・貯蓄)は、2 億 5,300 万ユーロ(+11%)増加して 26 億 3,200 万ユーロとなった。これは、(i) 主にフランスで、保障契約における保険数理上の仮定の強化が繰り返されなかったことによるテクニカルマージンの改善(+ 2 億 9,500 万ユーロ)、及び(ii) 主にフランスでの、地域全体の効率化対策による一般経費の減少(+6,800 万ユーロ)、によるもので、(iii)63bps と強固なままの投資マージンの若干の低下(▲7,600 万ユーロ)と、(iv) 法人税の増加(▲6,100 万ユーロ)、によって部分的に相殺された。

医療の基礎利益は、7,300 万ユーロ(▲11%)減少して 6 億 1,400 万ユーロになった。これは主に、(i) 殆どの地域での収益の大幅な伸びが、日本での COVID-19 に関する請求の増加と、フランスでの 2 つの大規模な国際グループ契約に関する不利な請求の経験、及び (ii) シンガポール、湾岸地域及びギリシャの子会社の処分、によるもので、(iii)特に、英国とアイルランドにおける金利の上昇を反映したより高い投資マージンと、(iv) 税引前の基礎利益の減少を反映した法人税の減少、によって部分的に相殺された。

保険事業の地域別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進展率) (単位:百万ユーロ)

| | 全体 | | 欧州 | | アジア | | AXA XL | | 国際 | | その他 | |
|----------------|----------|------|----------|------|---------|-----|---------|------|-------|------|-------|------|
| | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 |
| 保険料 | 2,590 | 3% | 2,004 | 3% | 200 | 2% | 457 | 2% | (298) | -6% | 227 | 32% |
| 総収入(生命・貯蓄・医療) | 405 | 1% | 564 | 2% | 124 | 1% | (14) | -8% | (268) | -11% | (2) | 0% |
| 営業利益 | 728 | 8% | 503 | 9% | 48 | 4% | 200 | 14% | 10 | 3% | (34) | -28% |
| 営業利益(生命・貯蓄・医療) | 224 | 6% | 170 | 7% | 14 | 1% | (3) | -60% | 49 | - | (7) | -15% |
| 基礎利益(生命・貯蓄・医療) | 236 | 8% | 160 | 9% | 50 | 4% | (2) | -50% | 36 | - | (7) | -18% |
| 投資資産 | (88,606) | -14% | (76,837) | -16% | (7,865) | -9% | (3,259) | -8% | 224 | 3% | (861) | -4% |
| EEV | (2,600) | -5% | (1,900) | -6% | 400 | 2% | - | - | (700) | -58% | - | - |
| 新契約価値 | (368) | -14% | (255) | -18% | (73) | -7% | - | - | (41) | -66% | - | - |

うち 欧州の主要国別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進展率) (単位:百万ユーロ)

| | フランス | | ドイツ | | スイス | | ベルギー | | イタリア | | スペイン | | 英国 アイルランド | |
|----------------|----------|------|----------|------|---------|------|---------|------|---------|------|---------|------|--------------|------|
| | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 |
| 保険料 | 1,020 | 4% | 206 | 2% | 500 | 10% | 92 | 3% | (262) | -6% | 31 | 1% | 441 | 8% |
| 総収入(生命・貯蓄・医療) | 414 | 2% | 25 | 0% | 209 | 12% | 27 | 2% | (360) | -13% | 13 | 1% | 236 | 13% |
| 営業利益 | 135 | 6% | 79 | 10% | 179 | 16% | 146 | 47% | 5 | 1% | 1 | 0% | (43) | -9% |
| 営業利益(生命・貯蓄・医療) | (52) | -5% | 3 | 1% | 21 | 7% | 16 | 5% | 23 | 13% | 23 | 22% | 58 | 44% |
| 基礎利益(生命・貯蓄・医療) | (4) | 0% | (22) | -9% | 43 | 18% | 13 | 6% | 9 | 11% | 16 | 21% | 46 | 43% |
| 投資資産 | (34,235) | -15% | (17,634) | -19% | (7,340) | -13% | (7,642) | -19% | (7,253) | -17% | (1,410) | -13% | (1,324) | -14% |
| EEV | (900) | -6% | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |
| 新契約価値 | (138) | -18% | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |

(3)地域別展開に関する方針及びトピック

AXA は、2022 年に入ってからこれまでに、以下の地域別事業展開の見直し等を公表してきている。

2022 年 2 月 11 日に、AXA Insurance Pte Ltd (「AXA Singapore」) の HSBC Insurance (Asia-Pacific) Holdings Ltd への現金対価総額 5.29 億米ドル(4.63 億ユーロ)での売却を完了したと発表した。

2022 年 7 月 1 日に、AXA Group の持株会社である AXA SA が、2022 年 6 月 30 日のキャプティブ再保険会社である AXA Global Re との合併に続き、以前に発表した AXA Group の内部再保険会社への転換を完了したことを発表した。AXA SA は、2022 年 1 月 1 日まで遡って有効で、毎年更新可能な 25%のクォータシェア再保険契約を通じて、2022 年に特定の欧州の P&C 会社に再保険をかける。

2022 年 7 月 14 日に、AXA Germany がドイツの認可保険会社である Athora Deutschland GmbH (Athora Germany) に、160 億ユーロの生命保険及び年金保険準備金のポートフォリオを売却する契約を締結したことを発表した。ポートフォリオは 2013 年以降、新契約を閉鎖しており、主に従来型の貯蓄型保険で構成されている。平均保証利率は 3.2%である。売却による AXA の貸借対照表に対する保証の減少は、金融市場リスクに対するグループのエクスポージャーをさらに減少させる。

契約条件に基づき、AXA Germany はポートフォリオを Athora Germany に 6 億 6,000 万ユーロで売却する。この売却により、AXA SA は推定 4 億ユーロの正味現金収入を得ることが見込まれる。AXA は、取引完了後に開始される株式買戻しにより、売却による利益の希薄化を相殺する予定である。取引の一環として、AXA IM は 2028 年まで資産管理サービスを Athora に提供する契約を締結している。

この取引により、AXA グループの基礎的収益が 2023 年以降、年間 3,600 万ユーロ減少すると予想される。AXA グループのソルベンシー II 比率に与える影響は軽微である。また、この取引が完了すると、グループに設定した従来の一般勘定準備金の削減目標である 300~500 億ユーロのうち、240 億ユーロが確保されることになる。

この取引は、規制当局の承認を含む慣習的な完了条件の対象となり、現在、2023 年の第 4 四半期に完了すると予想されている。

2022 年 8 月 30 日に、マレーシアでの保険事業である AXA Affin General Insurance の 49.99% の株式保有と AXA Affin Life Insurance の 49%の株式保有の Generali への売却を完了したことを発表した。

2 | Allianz

Allianz は、世界の 70 カ国以上で生命保険、損害保険事業、資産管理事業等を展開している。

Allianz は、以前に生命保険事業の主要な市場として、ドイツ、フランス、イタリア及び米国を挙げていたが、これらの市場における保険料や営業利益の構成比が大きなものとなっている。

(1)地域別の業績－2022 年の結果－

Allianz の生命保険事業の営業利益は、自国のドイツの構成比が 29% (2021 年は 29%)、フランス、スペイン、イタリア等の主要国からも有意な収益を上げており、欧州全体で 67% (2021 年は 64%) の構成比となっている。

米国の子会社である Allianz Life Ins Group は、2021 年末の認容資産ベースで、米国の生命保険・健康保険グループで第 19 位(2021 年末は第 17 位)となっており、その営業利益のグループ全体における構成比

は 21% (27%) となっている。

アジア・太平洋は、保険料、営業利益で 1 割程度の構成比となっている。

生命保険事業(Life/Health insurance)の地域別内訳(2022年)

(単位:百万ユーロ)

| | 全体 | | 欧州 | | 米国 | | 中南米 | | アジア・太平洋 | | 中東・アフリカ | | その他 | |
|---------|---------|------|--------|------|---------|-----|------|------|---------|------|---------|------|------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 正味経過保険料 | 25,033 | 100% | 19,491 | 78% | 1,514 | 6% | 111 | 0% | 3,237 | 13% | 209 | 1% | 471 | 2% |
| 法定保険料 | 75,124 | 100% | 51,395 | 68% | 15,103 | 20% | 677 | 1% | 6,889 | 9% | 521 | 1% | 539 | 1% |
| 営業利益 | 5,282 | 100% | 3,555 | 67% | 1,089 | 21% | 64 | 1% | 532 | 10% | 51 | 1% | (9) | 0% |
| 保険負債 | 696,916 | 100% | N.A. | N.A. | 152,003 | 22% | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |
| 新契約価値 | 2,526 | 100% | 1,445 | 57% | 597 | 24% | N.A. | N.A. | 303 | 12% | N.A. | N.A. | 181 | 7% |

※ 収入保険料(Gross written premiums)の地域別数値が公表されていないため、正味経過保険料(Premiums earned(net))の数値を用いている。

また、会社は法定保険料(Statutory Premiums)に基づく分析を開示しているため、この数値も掲載している。

会社のセグメントによる「保険負債」の内訳は、ドイツ語圏&中東欧 332,040 (48%)、西欧・南欧 177,999(26%)、アジア・太平洋&ギリシャ 28,797 (4%)、イベリア&中南米 8,542 (1%)、米国 152,003 (22%) となっている。新契約価値の不明分は全て「その他」に含めている。

また、「その他数値」には、Holdingの数値が含まれている。

うち 欧州の主要国内別内訳

(単位:百万ユーロ)

| | フランス | | ドイツ | | スイス | | スペイン | | イタリア | | 中東欧 | | 欧州その他 | |
|---------|-------|------|--------|------|-------|------|------|------|--------|------|-------|------|-------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 正味経過保険料 | 3,658 | 15% | 12,589 | 50% | 296 | 1% | 143 | 1% | 568 | 2% | 1,366 | 5% | 871 | 3% |
| 法定保険料 | 7,208 | 10% | 26,057 | 35% | 1,631 | 2% | 367 | 0% | 11,121 | 15% | 2,177 | 3% | 2,834 | 4% |
| 営業利益 | 647 | 12% | 1,528 | 29% | 112 | 2% | 69 | 1% | 474 | 9% | 470 | 9% | 255 | 5% |
| 保険負債 | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |
| 新契約価値 | 235 | 9% | 819 | 32% | 31 | 1% | 19 | 1% | 192 | 8% | 108 | 4% | 41 | 2% |

※ 「欧州その他」には、ベネルクス、ギリシャ、トルコ等が含まれる。「中東欧」はオーストリア、ウクライナ等を含んでいる。

(2)地域別の業績－2021年との比較－

2021年との比較では、生命保険事業の法定保険料は4%減少し、営業利益は5%増加した。

法定保険料は、名目ベースでは4%減少したが、これには、有利な外貨換算効果(15億4,800ユーロ)と(非)連結のプラス効果(5億2,900万ユーロ)による影響が含まれる。内部ベース(外貨換算、買収及び売却等の影響を除いたベース、以下の説明における増加率はこのベースによるため、図表の数値とは一致していない)では、法定保険料は6.8%(53億200万ユーロ)減少して730億4,700万ユーロになった。

ドイツの法定保険料のうち、生命保険契約は総額220億5,800万ユーロで7.6%減少した。これは主に、資本効率の高い商品を扱う事業における一時保険料の売上が減少したことによる。医療契約は39億9,900万ユーロで2.7%増加した。これは、完全医療保険の新契約保険料が好調であったことと、保険料の調整による。

米国では、法定保険料が151億300万ユーロとなり、1.8%増加した。これは主に固定インデックス型年金商品の売上高の増加によるものが、登録済みインデックス連動型年金商品によって一部相殺された。

イタリアでは、法定保険料が大幅に減少して111億2,100万ユーロとなり、20.7%減少した。これは主に、2021年が非常に好調だった保証なしのユニットリンク商品の売上が大幅に減少したことによるものであり、資本効率の高い商品の契約によって部分的に相殺された。

フランスでは、法定保険料が72億800万ユーロとなり、7.4%減少した。これは主に、保証付き貯

蓄及び年金事業の売上高の減少による。

アジア太平洋地域では、法定保険料が 68 億 8,900 万ユーロとなり、6.3%減少した。この減少の大部分は、台湾でのユニットリンク商品の売上減少とインドネシアでの一時払保険料の売上減少による。

営業利益は、主にポーランドで取得した Aviva 事業によるプラスの効果、実現利益の増加及び台湾でのユニットリンク管理手数料の増加により、増加した。その他の要因としては、ベネルクスでの実現利益の増加と、ドイツでの繰延新契約費(DAC)におけるプラスの調整が含まれる。これらのプラスの進展要因は、米国における登録指数連動型年金商品および固定型指数連動型年金商品の契約によって部分的に相殺された。

生命保険事業(Life/Health insurance)の地域別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進展率) (単位:百万ユーロ)

| | 全体 | | 欧州 | | 米国 | | 中南米 | | アジア・太平洋 | | 中東・アフリカ | | その他 | |
|---------|----------|------|---------|------|-------|------|------|------|---------|------|---------|------|------|------|
| | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 |
| 正味経過保険料 | 431 | 2% | (269) | -1% | 136 | 10% | 27 | 32% | 423 | 15% | (14) | -6% | 130 | 38% |
| 法定保険料 | (3,224) | -4% | (5,508) | -10% | 1,889 | 14% | 104 | 18% | (83) | -1% | 18 | 4% | 356 | 195% |
| 営業利益 | 271 | 5% | 348 | 11% | (268) | -20% | 20 | 45% | 89 | 20% | 6 | 13% | 77 | - |
| 保険負債 | (78,538) | -10% | N.A. | N.A. | 8,058 | 6% | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |
| 新契約価値 | (1) | 0% | (59) | -4% | 67 | 13% | N.A. | N.A. | (35) | -10% | N.A. | N.A. | 26 | 17% |

うち 欧州の主要国別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進展率) (単位:百万ユーロ)

| | フランス | | ドイツ | | スイス | | スペイン | | イタリア | | 中東欧 | | 欧州その他 | |
|---------|-------|------|---------|------|------|------|-------|------|---------|------|------|------|-------|------|
| | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 |
| 正味経過保険料 | 2 | 0% | (530) | -4% | (33) | -10% | (19) | -12% | 33 | 6% | 325 | 31% | (49) | -5% |
| 法定保険料 | (575) | -7% | (1,706) | -6% | 64 | 4% | (312) | -46% | (2,900) | -21% | 429 | 25% | (508) | -15% |
| 営業利益 | 6 | 1% | 53 | 4% | 15 | 15% | (36) | -34% | 25 | 6% | 247 | 111% | (23) | -8% |
| 保険負債 | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |
| 新契約価値 | 43 | 22% | 38 | 5% | 14 | 82% | (12) | -39% | (72) | -27% | 52 | 93% | (122) | -75% |

(参考)地域別の ROE

グループ全体の ROE は 1.8%ポイント低下して 11.2%となった。Allianz は、地域別の ROE を以下の通り開示している。これによれば、2022 年においては、フランスを除く各地域において 10%を超える水準を確保している。

生命保険事業の ROE(資本収益率)の状況

| | 全体 | ドイツ 生命保険 | ドイツ 医療保険 | フランス | スイス | スペイン | イタリア | 米国 | アジア ・太平洋 |
|-------|-------|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 2022年 | 11.2% | 11.8% | 13.7% | 9.4% | 13.1% | 11.4% | 12.2% | 13.9% | 15.0% |
| 2021年 | 13.0% | 12.2% | 14.5% | 9.6% | 9.6% | 13.9% | 13.8% | 18.9% | 13.0% |
| 2020年 | 12.8% | 13.0% | 11.9% | 10.7% | 11.3% | 74.8% | 10.9% | 11.5% | 13.3% |
| 2019年 | 12.7% | 14.0% | 12.0% | 12.6% | 10.0% | 21.1% | 10.9% | 14.5% | 15.3% |
| 2018年 | 11.4% | 16.6% | 13.2% | 12.0% | 10.0% | 19.8% | 10.0% | 11.0% | 1.1% |
| 2017年 | 12.1% | 18.0% | 14.0% | 11.7% | 8.0% | 22.7% | 8.0% | 10.7% | 13.1% |
| 2016年 | 10.7% | 23.0% | 12.0% | 12.4% | 6.9% | 18.0% | 7.4% | 12.2% | - |
| 2015年 | 10.8% | 25.7% | 15.7% | 9.6% | 6.6% | 14.6% | 14.5% | 9.6% | - |

(3)地域別展開に関する方針及びトピック

Allianz は、2022 年に入ってからこれまでに、以下の地域別事業展開の見直し等を公表してきている。

2022 年 1 月 4 日に、Allianz France の貯蓄契約ポートフォリオ(ユニットリンク資産の 60%で総額 21 億ユーロ)を CNP Assurances に譲渡することを発表した。

2022年2月11日に、European Reliance の72%を2.07億ユーロ相当で取得する株式購入契約を発表した。統合される会社はギリシャでナンバーワンの損害保険会社になる、としている。

2022年3月24日に、Allianz Ayudhya Capital PCL (AYUD) が Aetna Thailand を買収し、タイの保険市場でのプレゼンスをさらに拡大すると発表した。

2022年5月4日に、アフリカ最大のノンバンク金融サービス会社である Sanlam と、アフリカで1世紀の歴史を持つ世界有数の保険会社及び資産運用会社の1つである Allianz が、現在及び将来の事業をアフリカ全体で統合し、最大の汎アフリカノンバンク金融サービス事業体を構築すると発表した。

Sanlam と Allianz の事業統合により、アフリカ大陸の29か国で事業を展開する一流の汎アフリカノンバンク金融サービス事業体が誕生する。合併会社は、汎アフリカ最大の保険会社となり、事業体が事業を行う大部分の市場で上位3位にランクされると予想される。事業体は、330億南アフリカランド(約20億ユーロ)を超える合計グループエクイティバリュー(GEV)を持つと予想される。

2022年5月17日に、Allianz GI と Voya Financial が長期的な戦略的パートナーシップを締結する計画を発表した。これによると、①Allianz GI は特定の米国の投資チームと資産を Voya Investment Management (Voya IM) に譲渡し、Voya IM のAUM(運用資産残高)がプロフォーマベースで約3,700億ドルに増加、②Allianz GI と Voya Investment Management は、米国外の全ての Voya Investment Management 戦略の長期的な戦略的販売パートナーシップを確立、③Allianz GI が Voya IM の最大24%の株式を取得、となっている。

2022年6月3日に、ロシア事業の過半数株式をロシアの損害保険会社 Zetta Insurance の所有者である Interholding LLC に売却することに合意したと発表した。取引が完了すると、Allianz は合併会社の49.9%の少数株を保有することになる。この取引は、主に株主資本による外国為替のマイナスの影響の再分類により、Allianz の損益計算書に約4億ユーロのマイナスの影響を与えると推定されている。グループのソルベンシー資本とキャッシュポジションは影響を受けない。

2022年6月29日に、Allianz Asia Pacific (Allianz) と The Hongkong and Shanghai Banking Corporation Limited (HSBC) は、アジアの主要市場をカバーする独占的なバンカシュアランス販売契約を15年間延長することを発表した。2012年以来、アジア太平洋地域における Allianz と HSBC の戦略的パートナーシップは、地域全体において強力でレジリエントなバンカシュアランス事業を形成してきたが、これが2036年まで延長され、HSBC は引き続き、この地域における保障、教育、退職、ウェルス、遺産のニーズの分野で、Allianz の保険商品を販売していくことになる。

2022年9月30日に、UniCredit とのパートナーシップを強化するためのさらなる措置として、UniCredit が Allianz SE の保有する Zagrebačka banka dioničko društvo (「Zaba」) の全株式11.72%を購入するとともに、Allianz Holding EINS GmbH が Zaba の保有するクロアチアの保険会社 Allianz Hrvatska dioničko društvo za osiguranje の少数株式16.84%を取得すると発表した。

2022年10月5日に、2020年9月に Jubilee Holdings との間で、東アフリカでの損害保険事業の66%の株式を取得する契約を締結していたが、この取得が完了したと発表した。これにより、Allianz は現在、Uganda、Burundi、Tanzania、Mauritius、Kenya の損害保険市場におけるプレゼンスを有している。

3 | Generali

Generali は、2016 年 11 月 26 日に開催した「投資家の日 (Investor Day)」において、現在事業展開している市場を、①既に一定のプレゼンスを有して、規模があり魅力的な市場 (6~9 市場)、②プレゼンスが十分でないが魅力的な市場 (16~18 市場)、③魅力的な市場でもなくプレゼンスも無い市場 (13~15 市場)、の 3 つに分類して、③については合理化を進めることを計画している、と述べていた。

さらに、2020 年 11 月 19 日に開催された「投資家の日」のプレゼンテーションにおいて、資本配分の最適化を図るため、保有契約の生命保険ポートフォリオをさらに売却する可能性があることを述べていた。

こうした考え方に基づいて、Generali は、ここ数年、①2018 年第 1 四半期にオランダの事業の売却、②2019 年第 1 四半期にベルギー事業の売却、③2019 年第 2 四半期にドイツの Generali Leben の株式の Viridium Group への一部売却、④2020 年第 4 四半期に英国の生命保険ランオフポートフォリオの売却、等により、保証利率の高い事業の売却を進めてきた。これらを通じて、2021 年の決算発表時には、520 億ユーロの準備金を処分し、グループのソルベンシー比率を 8%ポイント上昇させた、と述べていた。

(1)地域別の業績—2022 年の結果—

Generali は、欧州を中心に世界の 50 カ国以上で事業展開をしている。

各種の指標において、自国のイタリアに加えて、ドイツとフランスで高い構成比を有しているが、さらにその他の欧州の国々のいくつかにおいても有意なポジションを確保している。

一方で、他の欧州大手保険グループとは異なり、欧州域外でのプレゼンスは現時点ではあまり高くない。

アジアでは、中国、香港、インド、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ及びベトナムの 8 つの国と地域で保険事業を展開している。主要なセグメントは生命保険であり、保険料収入は主に貯蓄、年金、保障契約に集中している。生命保険事業は、中国、香港、インド、マレーシア、フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナムで、損害保険事業は、香港、インド、マレーシア、タイで展開している。

保険事業の地域別内訳(2022年)

(単位:百万ユーロ)

| | 全体 | | 欧州 | | 米州・南欧 | | アジア | | その他 | |
|----------|---------|------|---------|-----|-------|------|--------|-----|-------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 保険料 | 81,538 | 100% | 70,405 | 86% | 2,648 | 3% | 5,057 | 6% | 3,428 | 4% |
| 保険料(生保) | 52,902 | 100% | 47,001 | 89% | 585 | 1% | 4,196 | 8% | 1,120 | 2% |
| 営業利益 | 6,248 | 100% | 5,556 | 89% | 240 | 4% | 251 | 4% | 201 | 3% |
| 営業利益(生保) | 3,522 | 100% | 3,334 | 95% | 100 | 3% | 192 | 5% | (104) | -3% |
| 投資資産(生保) | 388,526 | 100% | 361,246 | 93% | 1,585 | 0% | 17,251 | 4% | 8,444 | 2% |
| 新契約価値 | 2,478 | 100% | 2,301 | 93% | N.A. | N.A. | 134 | 5% | N.A. | N.A. |

※「その他」には、グループ会社間の調整等が含まれる。なお、Europ Assistance(グローバルに旅行や自動車関係の保険等を提供する会社)の数値もここに含めている。

「米州・南欧」は、アルゼンチン、ブラジル、チリ、エクアドル、米国及びポルトガル、ギリシア、トルコ等が含まれる。

うち 欧州の主要国別内訳

(単位:百万ユーロ)

| | フランス | | ドイツ | | イタリア | | スペイン | | スイス | | 中東欧 | |
|----------|---------|-----|--------|-----|---------|-----|-------|-----|--------|-----|--------|-----|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 保険料 | 15,570 | 19% | 14,878 | 18% | 28,321 | 35% | 2,494 | 3% | 1,824 | 2% | 7,319 | 9% |
| 保険料(生保) | 12,121 | 23% | 10,916 | 21% | 19,829 | 37% | 718 | 1% | 1,073 | 2% | 2,346 | 4% |
| 営業利益 | 932 | 15% | 1,025 | 16% | 2,314 | 37% | 244 | 4% | 95 | 2% | 946 | 15% |
| 営業利益(生保) | 742 | 21% | 533 | 15% | 1,512 | 43% | 186 | 5% | 54 | 2% | 307 | 9% |
| 投資資産(生保) | 100,453 | 26% | 84,160 | 22% | 141,876 | 37% | 5,788 | 1% | 14,981 | 4% | 13,988 | 4% |
| 新契約価値 | 523 | 21% | 346 | 14% | 1,126 | 45% | 118 | 5% | 41 | 2% | 147 | 6% |

※「中東欧」には、オーストリアを含む。

Annual Report によれば、欧州における生命保険と損害保険の市場シェア及びポジションについては、以下の通りとなっている。

Generaliの事業地域におけるランキングと市場シェア

| | 2022年報告 | | | | | 2021年報告 | | | | |
|--------|---------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|
| | 生命保険 | | 損害保険 | | 生損合計 | 生命保険 | | 損害保険 | | 生損合計 |
| | ランキング | 市場シェア | ランキング | 市場シェア | ランキング | ランキング | 市場シェア | ランキング | 市場シェア | ランキング |
| イタリア | 1 | 19.4 | 1 | 20.2 | 1 | 1 | 18.8 | 2 | 14.3 | 1 |
| ドイツ | 3 | 7.1 | 7 | 5.0 | 3 | 2 | 7.0 | 8 | 5.0 | 3 |
| フランス | 8 | 5.5 | 8 | 4.8 | 8 | 8 | 5.3 | 6 | 5.7 | 7 |
| オーストリア | n/a | 15.6 | n/a | 14.4 | 3 | n/a | 14.8 | n/a | 14.9 | 3 |
| ハンガリー | n/a | 9.5 | n/a | 19.1 | 2 | n/a | 9.8 | n/a | 18.7 | 2 |
| ポーランド | n/a | 4.8 | n/a | 5.3 | 6 | n/a | 4.5 | n/a | 5.3 | 6 |
| チェコ | n/a | 21.2 | n/a | 28.3 | 2 | n/a | 22.3 | n/a | 28.9 | 2 |
| スロバキア | n/a | 9.9 | n/a | 14.1 | 3 | n/a | 9.2 | n/a | 13.6 | 3 |
| スペイン | n/a | 2.9 | n/a | 4.3 | n/a | n/a | 3.1 | n/a | 4.3 | n/a |
| スイス | n/a | n/a | 8 | 4.0 | n/a | n/a | n/a | 8 | 4.3 | n/a |

(注) フランスのA&Hは5位、スペインは2022年第4四半期数値。

(出典) Generali Annual Reportに基づく(市場シェアは、直近の公表された収入保険料に基づく)。

(2)地域別の業績－2021年との比較－

2021年との比較では、グループ全体で、保険料(生保)は2%増加し、営業利益(生保)は14%増加した。

保険料(生保)は529億200万ユーロで、等価ベース(為替と連結範囲を一定)では▲2.4%。

保障契約が伸び(+3.8%)、良好なパフォーマンスを確認したが、これは、グループが事業を行っている国での幅広い成長を反映している。特に、イタリア(+12.5%)、フランス(+9.3%)、ACEE(オーストリア&中東欧)⁹(+5.5%)、スペイン(+9.5%)で成長が記録され、アジア(▲4.6%)の減少を相殺した。なお、ドイツの販売量は安定していた(▲0.3%)。

ユニットリンク契約の減少は、イタリアにおける実績(▲15.9%)によるものだが、ドイツ(+10.0%)、スペイン(+46.9%)、アジア(+9.0%)で記録された成長によって部分的に緩和された。

グループのポートフォリオ再構築戦略に沿って、フランス(▲14.3%)、ドイツ(▲11.4%)及びイタリア(▲4.1%)

⁹ 2021年まではACEERの名称によるセグメントだったが、ロシアからの事業撤退に伴い、名称をACEEに変更している。

での取引量の減少の結果、貯蓄及び年金ラインは減少した(▲5.5%)が、アジアでの業績(+12.7%)によって部分的に相殺された。

営業利益(生保)は大きく伸び、35億2,200万ユーロに達した(2021年の28億1,600万ユーロから25.1%増加)。より収益性の高いビジネスミックスのおかげで、技術的マージン(保険費用控除後)が改善した。純投資収益も、主に経常的要素により、収益と準備金の両方が金利上昇の恩恵を受けて、増加した。

一方で、新契約価値は、保険料の増加と収益性の改善の効果により、7%増加した。

保険事業の地域別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進展率) (単位:百万ユーロ)

| | 全体 | | 欧州 | | 米州・南欧 | | アジア | | その他 | |
|----------|----------|------|----------|------|-------|------|-------|------|----------|-------|
| | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 |
| 保険料 | 5,713 | 8% | 4,267 | 6% | 423 | 19% | 1,231 | 32% | (207) | -6% |
| 保険料(生保) | 1,222 | 2% | 877 | 2% | 144 | 33% | 685 | 20% | (482) | -30% |
| 営業利益 | 782 | 14% | 516 | 10% | 19 | 9% | 54 | 27% | 195 | 3250% |
| 営業利益(生保) | 706 | 25% | 554 | 20% | 47 | 89% | 13 | 7% | 95 | - |
| 投資資産(生保) | (78,746) | -17% | (65,496) | -15% | (186) | -11% | 2,649 | 18% | (15,711) | -65% |
| 新契約価値 | 165 | 7% | 187 | 9% | N.A. | N.A. | (32) | -19% | N.A. | N.A. |

うち 欧州の主要国別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進展率) (単位:百万ユーロ)

| | フランス | | ドイツ | | イタリア | | スペイン | | スイス | | 中東欧 | |
|----------|----------|------|----------|------|----------|------|---------|------|---------|-------|---------|------|
| | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 |
| 保険料 | 77 | 0% | (20) | 0% | 3,659 | 15% | 119 | 5% | 71 | 4% | 362 | 5% |
| 保険料(生保) | (253) | -2% | (118) | -1% | 1,158 | 6% | 25 | 4% | 46 | 4% | 21 | 1% |
| 営業利益 | 112 | 14% | (24) | -2% | 378 | 20% | (59) | -19% | 36 | 61% | 73 | 8% |
| 営業利益(生保) | 91 | 14% | 118 | 28% | 230 | 18% | 7 | 4% | 52 | 2600% | 56 | 22% |
| 投資資産(生保) | (19,240) | -16% | (17,400) | -17% | (21,796) | -13% | (1,636) | -22% | (2,870) | -16% | (2,554) | -15% |
| 新契約価値 | 162 | 45% | (16) | -4% | 61 | 6% | (9) | -7% | (1) | -2% | (10) | -6% |

(3)地域別展開に関する方針及びトピック

Generaliは、2022年に入ってからこれまでに、以下の地域別事業展開の見直し等を公表してきている。

2022年1月27日に、インドの生命保険会社Future Generali India Insurance Company Limited (FGII)と損害保険会社Future Generali India Life Insurance Company Limited (FGLI)の両方で、最初の国際的プレーヤーとして、インドの保険合弁事業の過半数株主になると発表した。その後3月30日に、関係者からの必要な全ての承認を受けた後、Industrial Investment Trust Limited (IITL)が保有するFGLIの全株式(約16%)の取得と、FGIIの追加株式の引受を完了し、インドの生命保険会社の過半数株主になると発表した。さらに2022年5月6日に、関連する規制当局及び競争当局から承認を受け、取引が完了し、FGIIの約74%の株式を保有している、と発表した。

2022年7月1日に、関連する規制当局及び競争当局からの必要な全ての承認を受けて、CRÉDIT AGRICOLE ASSURANCESからのLAMÉDICALEの買収及びLAMÉDICALEが販売及び管理する死亡保障ポートフォリオのPredicaからの購入を完了した、と発表した。この買収は、独立した医療専門家の特定のネットワークを獲得することにより、代理店を通じての販売を強化し、専門家市場での地位を強化するというGeneraliの戦略の一環である。

2022年8月30日に、マレーシアのAXA-Affin合弁会社の買収とMPI Generaliの100%の買収を完了した、と発表した。GeneraliはAXA Affin Life Insurance合弁会社の70%の株式(AXAから49%、

Affin から 21%) と AXA Affin General Insurance 合弁会社の約 53%の株式 (AXA から 49.99%、Affin から 3%) を取得した。

グループはまた、MPI Generali Insurans Berhad の現在の 49%の株式保有を、マレーシアの合弁会社パートナーである Multi-Purpose Capital Holdings Berhad (MPHB Capital) が保有する株式を取得することで 100%に増やした。

Generali は、MPI Generali と AXA Affin Generali Insurance の事業を統合する予定であり、完了時には統合後の会社の 70%を保有し、Affin Bank が生命保険事業と損害保険事業の 30%を保有することになる。

全ての事業体は、2023 年初頭に単一の統一ブランド「Generali Malaysia」が立ち上げられるまで、現在のブランドで引き続き運営される。

この買収により、Generali はマレーシア市場の大手保険会社の 1 つとして位置付けられ、同国の生命保険セグメントにアクセスできるようになる。Generali はまた、Affin Bank との間で、従来型の損害保険商品及び生命保険商品の販売に関する独占的なバンカシュアランス契約を締結した。

2022 年 11 月 7 日に、ポルトガル法人である Tranquilidade が、ポルトガルの郵便サービスグループである CTT Group と (CTT 郵便局ネットワーク及びその銀行である Banco CTT を通じて) 確立された長期販売契約を締結したと発表した。なお、これに伴い、Generali が 2,500 万ユーロを投資して、Banco CTT の株主となる。

4 | Aviva

2019 年 3 月に Aviva のグループ CEO に就任した Maurice Tulloch 氏は、複雑な事業体構成を見直し、より強い説明責任と経営の焦点を絞る図る観点から、英国の生命保険と損害保険事業を分割し、アジア事業の戦略的選択肢を検討していくと述べていた。また、これにより最大 20 億ドルの価値のある取引でアジア事業を売却すると想定していた。その後、2020 年 7 月に Amanda Blanc 氏が CEO に就任し、この戦略を引き継いだ形になっている。

Aviva は、以前は世界の十数カ国で事業展開し、英国、フランス、ポーランド、アイルランド、イタリア、カナダ、シンガポール、Aviva Investors を 8 つの主要市場 (Major markets) として位置付けていた。ただし、現在はポートフォリオを簡素化するための戦略として、英国、アイルランド、カナダの事業等のグループのコア市場 (Core Markets) に焦点を置く「持続可能で耐性力のある」方針を推進している。この戦略に従って、2020 年には、セグメントの管理を「英国&アイルランド (生命保険)」、「損害保険 (英国&アイルランド&カナダ)」、「Aviva Investors」及び「Manage-for-value」に区分し、英国、アイルランド、カナダ以外の事業は「Manage-for-value」で管理され、戦略的な目標を満たさない場合には撤退する方針を掲げていた。この考え方に従って、Aviva は、2020 年に、アジアのシンガポールのマジョリティ、インドネシアや香港のジョイントベンチャー、ベトナム事業等の売却を完了し、さらに、2021 年には、フランス、イタリア、ポーランド及びリトアニアの事業の売却を完了している。

(1)地域別の業績－2022 年の結果－

英国での生命及び貯蓄市場のシェアは 25% (ABI の 2021 年 9 月末までの 12 か月ベース統計によ

る)で、英国で最大の保険会社となっている。また、アイルランドの生命保険市場では第4位となっている。また、英国とアイルランドの損害保険市場におけるリーディング保険会社で、英国では第1位、アイルランドでは第3位となっている。さらに、カナダの損害保険市場では8%のシェア(2020 MSA Research Results)で第3位となっている。

事業の売却を推進してきた結果、Avivaの保険料、営業利益の8割程度は欧州からのものとなっている。欧州では、英国&アイルランド(生保&医療)が保険料では55%だが、営業利益では63%を占めている。それ以外では英国&アイルランド(損保)とカナダがそれぞれ2割弱となっている。なお、営業利益(生保&医療)の殆どが英国&アイルランドからである。

保険事業の地域別内訳(2022年)

(単位:百万ポンド)

| | 全体 | | 英国&アイルランド (生保&医療) | | 英国&アイルランド (損保) | | カナダ | | Aviva Investors | | 国際投資 | | その他 | |
|-------------|--------|------|----------------------|------|-------------------|-----|-------|-----|-----------------|-----|------|------|-------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 保険料 | 18,919 | 100% | 9,140 | 48% | 5,740 | 30% | 4,009 | 21% | — | — | 30 | 0% | — | — |
| 営業利益 | 2,213 | 100% | 1,908 | 86% | 338 | 15% | 433 | 20% | 25 | 1% | 52 | 2% | (491) | -22% |
| 営業利益(生保&医療) | 1,888 | 100% | 1,908 | 101% | — | — | — | — | — | — | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |
| 新契約価値 | 851 | 100% | 767 | 90% | — | — | — | — | — | — | 84 | 10% | — | — |

※ 数値は損害保険を含んだものである。全体数値の内訳は、以下の通り。

保険料は「Gross written premium」で、うち 生命保険8,591、医療保険579、損害保険 9,749

営業利益は「Group adjusted operating profit before tax attributable to shareholders' profit/operating profit before tax」

新契約価値は、MCVNB(Market Consistent Value of New Business)

「その他」には、非継続事業等が含まれている(2020年報告では「Manage-for-value」と区分されていたもののうち「国際投資」を除いた分)。また、営業利益にはコーポレートセンターやグループ債務のコスト等が含まれる。

(2)地域別の業績—2021年との比較—

Avivaは2020年、2021年に多くの事業を売却していたが、AvivaグループCEOのAmanda Blanc氏は、2022年3月に、過去20カ月間で、合計75億ポンドで8つの事業の売却を完了させたと述べており、2022年は比較的落ち着いた動きとなっていた。

営業利益は2021年の全体数値との比較では2%減少したが、2021年に含まれている非継続事業の影響を除いた、継続事業ベースでの営業利益では35%増加して、22億1,300万ポンド(2021年:16億400万ポンド)となった。英国、アイルランド、カナダ、Aviva Investorsの営業利益が21%増の27億400万ポンド(2021年:22億3,100万ポンド)となった。英国&アイルランドの生命保険事業とカナダの事業が堅調に推移したが、英国&アイルランドの損害保険事業及びAviva Investorsの営業利益の減少により一部相殺された。

英国&アイルランド(生命&医療)の営業利益は34%増の19億800万ポンド(2021年:14億2,800万ポンド)で、これは主に、年金&エクイティリリースの業績の改善、長寿の仮定の変更、Ireland Lifeの業績の改善による。ただし、2022年の市場変動が手数料収入に与える影響を反映して、市場の動きに起因する繰延新契約費の帳簿価額の減少、及びウェルス部門の営業利益の減少による不利な影響によって部分的に相殺された。

英国&アイルランド(損保)の営業利益は5%減の3億3,800万ポンド(2021年:3億5,600万ポンド)で、英国では、2021年と比較して通常の請求頻度に戻り、天候によるコストが増加したが、インフレの上昇も見られた。これらの要因の影響は、投資収益の増加によって部分的に相殺された。企業保険は、収益性の高い新契約の成長と強力なレートモメンタムを通じて市場シェアを拡大し続けており、

個人保険は価格設定の規律を維持し続けている。

カナダでは、営業利益が6%増加して4億3,300万ポンド(2021年:4億600万ポンド)になった。為替一定ベースでは、引受結果の減少が投資収益の増加によって相殺されたため、営業利益は前年度とほぼ同水準だった。引当金の推移、手数料の低下、天候関連の異常災害による損失の減少、および価格設定、補償管理及びリスク選択に関する継続的な取り組みの影響は、行動の変化に起因する請求頻度の増加やインフレの影響を含む請求金額の上昇によって相殺された。

Aviva Investorsの営業利益は2,500万ポンド(2021年:4,100万ポンド)、または(コスト削減の実施、戦略的投資コスト、および外国為替の動きを除くと)4,800万ポンド(2021年:5,800万ポンド)に減少した。これらは、Bank of New York Mellonへの業務の移行や、Mount Streetへのローンサービスのアウトソーシングに成功した新しい拡張性のある実物資産運用モデルを含む、コスト削減イニシアチブの影響が反映された結果である。

国際投資の営業利益は、主に1回限りの不動産費用の結果として、5,200万ポンド(2021年:9,700万ポンド)に減少した。

なお、新契約価値は、非継続事業の影響があり、21%と大きく減少した。ただし、英国&アイルランド(生保&医療)の新契約価値は15%増加した。

保険事業の地域別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進展率)

(単位:百万ポンド)

| | 全体 | | 英国&アイルランド(生保&医療) | | 英国&アイルランド(損保) | | カナダ | | Aviva Investors | | 国際投資 | | その他 | |
|-------------|-------|------|------------------|------|---------------|-----|-----|-----|-----------------|------|------|------|-------|------|
| | 増加額 | 進展率 | 増加額 | 進展率 | 増加額 | 進展率 | 増加額 | 進展率 | 増加額 | 進展率 | 増加額 | 進展率 | 増加額 | 進展率 |
| 保険料 | (479) | -2% | (1,451) | -14% | 388 | 7% | 554 | 16% | - | - | - | - | - | - |
| 営業利益 | (52) | -2% | 480 | 34% | (18) | -5% | 27 | 6% | (16) | -39% | (45) | -46% | (428) | - |
| 営業利益(生保&医療) | 422 | 29% | 480 | 34% | - | - | - | - | - | - | N.A. | N.A. | N.A. | N.A. |
| 新契約価値 | (223) | -21% | 99 | 15% | - | - | - | - | - | - | 6 | 8% | - | - |

(参考) 地域別 ROE の状況

Avivaは、地域別のROEを開示している。全体では16.4%で、2021年の11.3%からは5.1%ポイント増加した。

保険事業のSolvency II ROE(資本収益率)の地域別状況

| | 全体 | 英国/アイルランド(生保) | 英国/アイルランド(損保) | カナダ | Aviva Investors(資産管理) | 国際投資 |
|-------|-------|---------------|---------------|-------|-----------------------|-------|
| 2022年 | 16.4% | 10.4% | 12.5% | 18.6% | 6.0% | 10.8% |
| 2021年 | 11.3% | 6.6% | 14.1% | 21.6% | 9.3% | 13.6% |

※ ROEは、全体は「Return on equity」、それ以外は「Return on capital」、なお、2021年の数値は2022年ベースに修正された数値

(3)地域別展開に関する方針及びトピック

Avivaは、2022年に入ってからこれまでに、以下の地域別事業展開の見直し等を公表してきている。

2022年3月2日に、急成長している英国のウェルスマーケットにおけるAvivaの地位を大幅に強化するために、3億8500万ポンドの対価でSuccession Wealthを買収することを発表した。この会社は、約19,000の顧客と、95億ポンドの資産にアドバイスしており、この契約により、約400万人の職域年金の顧客にアドバイス

を提供できるようになると語った。なお、8月11日に、Succession Wealth の買収が完了したことを発表している。

2022年8月2日に、英国とアイルランドにおける富裕層の個人向け事業を買収するために、スペシャリストのマネージングゼネラルエージェントである Azur Underwriting Ltd と拘束力のある契約を結んだと発表した。

2022年9月28日に、Dabur Invest Corp. からインドの合弁会社である Aviva Life Insurance Company India Limited (ALICIL) の25%の株式を取得し、株式取得後の Aviva の株式保有は ALICIL の74%に増加したと発表した。

5 | Aegon

Aegon は、現在、自国のオランダや英国を中心とする欧州と、米国、ブラジルを中心とする米州が2大地域となっている。

Aegon は、以前は世界の20カ国以上で事業展開してきたが、例えば2010年から2017年までに4カ国の保険事業から撤退し、さらに、2018年には Aegon Ireland の売却、米国の生命保険再保険事業の最後のブロックの売却、チェコとスロバキアの事業売却（2019年1月8日に完了）を行ってきた。2019年には日本における変額年金ジョイントベンチャーの50%持分をそのパートナーである Sony Life に売却（2020年1月29日に完了）した。さらに、2020年には、ハンガリー、ポーランド、ルーマニア、トルコでの保険・年金・資産管理事業の売却を発表して、2022年には売却を完了する予定としている（このうち、ハンガリーは2022年3月に完了済）。

このように、Aegon は、主導的なポジションを得ることができる市場に焦点を当てるという観点から、積極的な対応を進めてきており、現在は、3つのコア市場（米国、英国、オランダ）、3つの成長市場（スペインとポルトガル、ブラジル、中国）とグローバルなアセットマネージャーとしての事業に戦略的な焦点を当てて、投資、保障及び退職ソリューションを提供してきている。

(1)地域別の業績－2022年の結果－

営業利益では、自国のオランダの構成比が41%（2021年は40%）、英国が11%（10%）、南欧・中東欧等を含む「国際」が9%（8%）であるのに対して、米国及び中南米からなる米州の構成比が41%（41%）で他の欧州保険グループに比較して高くなっている。

Transamerica のブランドを中心とする米国子会社の Aegon USA Group は、2022年末の認容資産で、米国の生命保険・健康保険グループで第15位（2021年末は第13位）となっている。

なお、損害保険事業は、欧州で展開しているが、その全体における位置付けは高くない。

保険事業の地域別内訳(2022年)

(単位:百万ユーロ)

| | 全体 | | 欧州&国際 | | 米州 | | その他 | |
|---------|---------|------|---------|-----|---------|-----|---------|-----|
| | | 構成比 | | 構成比 | | 構成比 | | 構成比 |
| 保険料 | 14,761 | 100% | 7,296 | 49% | 8,735 | 59% | (1,270) | -9% |
| 保険料(生保) | 14,617 | 100% | 6,970 | 48% | 8,735 | 60% | (1,095) | -7% |
| 営業利益 | 1,918 | 100% | 1,156 | 60% | 790 | 41% | (28) | -1% |
| 資産 | 400,936 | 100% | 195,510 | 49% | 207,217 | 52% | (1,791) | 0% |
| 新契約価値 | 526 | 100% | 176 | 33% | 350 | 67% | - | - |

※ 生保には、医療・傷害も含まれる。全体数値の内訳は、以下の通り。
 保険料は「Gross premium」(生保12,848、医療・傷害1,769)、営業利益は「operating result before tax」
 新契約価値は、MCVNB(Market Consistent Value of New Business)
 「国際」には、南欧(スペイン・ポルトガル)・中東欧・アジア・TLB(富裕層向けビジネス)等が含まれる。なお、「国際」の営業利益のうち中国は26(2021年は24)。
 「その他」には、Holdingや資産管理等のその他の事業及び調整分等が含まれている。保険料等がマイナスなのは、関連会社及びJVによるEliminations(消去)による。

うち 欧州の主要国別内訳

(単位:百万ユーロ)

| | オランダ | | 英国 | | 国際 | |
|---------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
| | | 構成比 | | 構成比 | | 構成比 |
| 保険料 | 1,569 | 11% | 4,081 | 28% | 1,646 | 11% |
| 保険料(生保) | 1,425 | 10% | 4,081 | 28% | 1,464 | 10% |
| 営業利益 | 783 | 41% | 206 | 11% | 167 | 9% |
| 資産 | 88,902 | 22% | 95,264 | 24% | 11,344 | 3% |
| 新契約価値 | 16 | 3% | 84 | 16% | 76 | 14% |

※ 「国際」の営業利益の内訳は、スペイン&ポルトガル 78(2021年は75)、中国 26(24)、TLB(Transamerica Lifr Bermuda) 60(77)等

(2)地域別の業績ー2021年との比較ー

保険料は、2021年との比較で、全体で4%減少した。地域毎に見た場合、オランダや英国等の欧州で、主としてAegon HungaryとAegon TurkeyをVienna Insurance Group AG Wiener Versicherung Gruppe(VIG)に売却したことにより、減少したものの、米州では7%増加した。

営業利益は、2021年に比べて1%増加の19.18億ユーロだった。これは、経費節減、成長イニシアチブによる利益、請求経験の改善及び米ドル高によるが、一部、米国の変額年金及び資産運用における不利な市場動向及び資金流出による手数料の減少によって相殺された。地域別には以下の通り。

- ・オランダでは、銀行及びWorkplace Solutions(職域貯蓄)の結果が、金利の上昇、事業の成長、損害保険準備金のリリースに支えられて増加したことから、4%増加して、7億8,300万ユーロとなった。なお、住宅ローンからの投資収益の減少を反映して、生命保険及びモーゲージの結果は減少した。
- ・英国では、12%増加して2億600万ユーロになった。この増加は主に、対応可能な費用の減少による営業費用の減少によるもので、一般勘定の純投資収益の増加が、従来の商品ポートフォリオの段階的な縮小による収益の損失による影響で相殺される以上に大きかったことによる。
- ・国際では、17%増加して1億6,700万ユーロになった。この増加は、請求経験の改善、事業の成長及びブラジル事業におけるAegonの経済的所有権の増加を反映している。これらの項目は、Transamericaとの再保険契約の結果として、2021年に比べてTLB(Transamerica Life Bermuda)の営業成績が減少したことによって一部相殺された。
- ・米州では、2021年と比較して安定しており、7億9,000万ユーロだった。米ドル高、生命保険における死亡保険金請求実績の改善及び業務改善計画の結果としての費用の減少が、この結果に貢献した

が、不利な市場と予想される資金流出により手数料収入がマイナスの影響を受けた変額年金の業績が低下したことで相殺された。さらに、ミューチュアルファンド及びリタイアメントプランでの手数料収入の減少と傷害及び健康保険での罹患率の増加によって相殺された。

- ・その他の中の、資産管理は 24%減少して 1 億 6,700 万ユーロとなった。この減少は主に、戦略的パートナーシップにおける業績連動報酬を差し引いた業績報酬の減少によるものである。
新契約価値については、2%減少した。

保険事業の地域別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進展率)(単位:百万ユーロ)

| | 全体 | | 欧州&国際 | | 米州 | | その他 | |
|---------|----------|------|----------|------|----------|------|---------|-----|
| | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 |
| 保険料 | (683) | -4% | (1,017) | -12% | 545 | 7% | (210) | - |
| 保険料(生保) | (426) | -3% | (775) | -10% | 545 | 7% | (203) | - |
| 営業利益 | 12 | 1% | 74 | 7% | 0 | 0% | (62) | - |
| 資産 | (67,948) | -14% | (38,635) | -17% | (26,820) | -11% | (2,493) | - |
| 新契約価値 | (12) | -2% | 1 | 1% | (12) | -3% | - | - |

うち 欧州の主要国別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進展率)(単位:百万ユーロ)

| | オランダ | | 英国 | | 国際 | |
|---------|----------|------|----------|------|---------|------|
| | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 |
| 保険料 | (144) | -8% | (535) | -12% | (338) | -17% |
| 保険料(生保) | (152) | -10% | (535) | -12% | 103 | 8% |
| 営業利益 | 28 | 4% | 22 | 12% | 24 | 17% |
| 資産 | (18,506) | -17% | (18,494) | -16% | (1,635) | -13% |
| 新契約価値 | 8 | - | (5) | -6% | (2) | -3% |

(参考) 地域別の ROC

なお、Aegon は、地域別の ROC を開示しているが、その状況は以下の図表の通りとなっている。

保険事業のROC(Return on Capital)の状況

| | 全体 | 米州 | オランダ | 英国 | 国際 | スペイン ポルトガル | 中国 | TLB | 資産管理 |
|-------|------|------|------|-------|------|---------------|-------|-------|-------|
| 2022年 | 7.8% | 6.2% | 8.7% | 12.8% | 6.1% | 7.3% | 12.9% | 7.2% | 15.5% |
| 2021年 | 8.3% | 6.9% | 8.6% | 11.7% | 5.8% | 7.1% | 18.1% | 10.3% | 24.8% |
| 2020年 | 7.7% | 6.8% | 7.4% | 9.7% | 7.3% | 5.4% | 20.3% | 7.5% | 22.7% |
| 2019年 | 8.6% | 8.3% | 8.4% | 10.1% | 5.7% | 4.4% | 14.8% | - | - |

(3)地域別展開に関する方針及びトピック

Aegon は、2022 年に入ってからこれまでに、以下の地域別事業展開の見直し等を公表してきている。

2022 年 2 月 16 日に、VIG (Vienna Insurance Group AG Wiener Versicherung Gruppe) が Corvinus Nemzetközi Befektetési Zrt を保有するハンガリー国との間で合意に達したと発表した。これによると、「ハンガリーの VIG 会社は、ハンガリーの VIG 持株会社 (VIG Magyarország Befektetési Zrt) と 2 つのオランダの持株会社 (Aegon Hungary Holding BV と Aegon Hungary Holding II BV) によって保有される。Corvinus は、これら 3 つの持株会社のそれぞれで 45% の非支配少数株主持分を取得する。これらの持株会社への 3 つの 45% の参加について合意された購入価格は、約 3 億 5,000 万ユーロになる。UNION Vienna Insurance Group Biztosító Zrt の株式の 98.64% は、ハンガリーの VIG に提供される。オランダの Aegon

持株会社 2 社は、ハンガリーの Aegon (保険、資産運用、年金基金、サービス会社) の株式を 100% 保有している。VIG は、これら 3 つの持株会社の 55% の支配的過半数持分を保持する。」ことになる。次のステップでは、3 つの持株会社を統合し、ハンガリーの VIG 持株会社を中央ステアリングユニットとして指定する予定であると述べた。

2022 年 3 月 23 日に、ハンガリー事業のウィーン保険グループ AG Wiener Versicherung Gruppe (VIG) への売却を完了したことを発表した。取引の総収入は 6 億 2000 万ユーロにのぼる。この完了は、2020 年 11 月に発表されたように、中・東欧での Aegon の保険、年金及び資産管理事業の VIG への売却を 8 億 3,000 万ユーロで完全に完了するための重要なステップとなる。ポーランド、ルーマニア、トルコでの Aegon の事業の売却は、必要な現地の規制当局の承認を条件として、2022 年中に完了する予定であると述べた。

Aegon のハンガリー事業の売却後、Aegon の IFRS 資本は 2022 年の第 1 四半期に約 4 億ユーロ増加し、そのうち約 3 億 7500 万ユーロが 12 月 31 日の貸借対照表のポジションに基づいて帳簿上の利益として認識される。Aegon のハンガリー事業の売却の完了、債務の返済及び株式の買戻しの組み合わせは、グループのソルベンシー II 比率に重大な影響を与えることはない、としている。

2022 年 5 月 23 日に、Liberbank とのスペインの保険合弁会社の 50% の株式を Unicaja Banco に売却することを決定したと発表した。この売却は、2021 年の Unicaja Banco との合併後の Liberbank の支配権の変更が続くものであり、取引総額は 1 億 7,700 万ユーロに達する。これについては、2022 年 10 月 14 日に、Liberbank とのスペインの保険合弁会社の 50% の株式の Unicaja Banco への売却が成功裏に完了したと発表した。

2022 年 10 月 27 日に、Aegon のオランダ事業と a.s.r. (オランダの保険グループ) を統合する合意がなされたと発表した。また、この合意内容は、2023 年 1 月 17 日に、臨時株主総会で承認されたと発表した。これにより、オランダの年金、生命保険、損害保険市場のリーダーが誕生すると述べた。

2023 年 4 月 4 日に、英国の個人保障ブックを Royal London に売却することを発表した。この取引は、選択した市場で主要なビジネスを創出するための一環として、英国の中核となるリテール及びワークプレイスプラットフォーム活動に集中するという Aegon の戦略に基づいている。

6 | Zurich

Zurich は、世界の 200 以上の国と地域で、生命保険や損害保険等のサービスを提供している。

Zurich は、事業ポートフォリオの見直しを適宜行っており、非中核事業の撤退を通じて資本を解放する一方で、成長が見込める市場において、買収等に再投資してきている。

(1) 地域別の業績 – 2022 年の結果 –

欧州では、自国のスイス以外に、ドイツから高い営業利益を上げている他、英国、アイルランド、スペイン、イタリアからの営業利益も有意な水準となっている。ただし、こうした欧州各国からの構成比は全体の 62% であり、残りの 38% を北米¹⁰、中南米、アジア・太平洋が占めている。

他社との比較では、アルゼンチン、ブラジル、チリ、メキシコ等の中南米の位置付けが高くなっているのが特徴的で、営業利益で 20% を占めている。Banco Santander との提携による Zurich Santander

¹⁰ Zurich の米国子会社グループは、他の米国事業を有する会社の米国子会社グループのような大きな規模を有していない。

における販売等が貢献している。また、オーストラリア、香港、インドネシア、日本、マレーシア等のアジア・太平洋のシェアも保険料、営業利益において2割程度と高い水準になっている。

生命保険事業(Global Life)の地域別内訳(2022年)

(単位:百万ドル)

| | 全体 | | 欧州・中東・ アフリカ | | 北米 | | 中南米 | | アジア・太 平洋 | | その他 | |
|----------|---------|------|----------------|-----|--------|-----|--------|-----|-------------|-----|-----|-----|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 保険料 | 10,606 | 100% | 5,735 | 54% | 177 | 2% | 2,368 | 22% | 2,325 | 22% | 0 | 0% |
| 営業利益 | 1,963 | 100% | 1,214 | 62% | 19 | 1% | 388 | 20% | 331 | 17% | 11 | 1% |
| 準備金(再保後) | 180,852 | 100% | 138,825 | 77% | 13,578 | 8% | 22,172 | 12% | 6,274 | 3% | 3 | 0% |
| 新契約価値 | 761 | 100% | 557 | 73% | 9 | 1% | 146 | 19% | 49 | 6% | - | - |

※「北米」はアンソロアメリカ(米国とカナダ)を指し、「中南米」はラテンアメリカの意味でメキシコを含んでいる。

営業利益(税引後)は「Business operating profit」

Farmers Lifeに対応する分は含めていない。

うち 欧州の主要国別内訳

(単位:百万ドル)

| | 英国 | | アイルランド | | ドイツ | | スイス | | スペイン | | イタリア | | 欧州 その他 | |
|----------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|-----|--------|-----|-----------|-----|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 保険料 | 1,122 | 11% | 284 | 3% | 1,149 | 11% | 920 | 9% | 1,319 | 12% | 623 | 6% | 319 | 3% |
| 営業利益 | 219 | 11% | 69 | 4% | 259 | 13% | 285 | 15% | 150 | 8% | 27 | 1% | 205 | 10% |
| 準備金(再保後) | 28,634 | 16% | 29,384 | 16% | 27,116 | 15% | 16,610 | 9% | 9,369 | 5% | 11,315 | 6% | 16,397 | 9% |

※「欧州その他」には、中東・アフリカを含む

(2)地域別の業績－2021年との比較－

Zurich の決算数値は米ドル建てで報告されているため、2021年との比較を見る上では、2022年の米ドルの主要通貨に対する状況を考慮しておく必要がある。Zurich は通貨変動が各種指標に与える影響を開示している。

営業利益については、以下の通り。

- ・全体では、不利な外国為替と市場の動きの影響があったものの、堅調な基本業績、経営行動及び COVID-19 の請求経験の改善による影響が上回って、前年同期より8%増加した。
- ・欧州・中東・アフリカ(EMEA)では、2021年の7,600万米ドルに達した COVID-19 の請求の影響が無くなったことで1%増加したが、一方で COVID-19 の請求とイタリアの生命保険バックブックの売却の影響分を調整すると、1%の減少となった。現地通貨での成長が通貨の不利な動きによって相殺された。この結果は、経営行動による好影響によって相殺された以上の、主に繰延新契約費の加速償却に関連した不利な市場の動きの影響も反映している。
- ・Farmers Lifeを除く北米では、不利な仮定の更新により、1,200万米ドル減少した。
- ・中南米では、投資収益の増加、収益性の高い成長及び COVID-19 の請求の減少(2021年の1億1,500万米ドルから2022年の1,000万米ドルへ)により、75%増加した。
- ・アジア太平洋地域では、主に日本での入院給付に起因する4,600万米ドルの COVID-19 保険金等請求の影響で5%減少(COVID-19 保険金等請求を調整すると、営業利益は7%増加)した。仮定の更新、準備金のリリース及び基礎となる成長の有利な影響は、通貨の不利な動きによって部分的に相殺された。

なお、新契約価値は、全体で21%減少した。

生命保険事業(Global Life)の地域別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進捗率) (単位:百万ドル)

| | 全体 | | 欧州・中東・ アフリカ | | 北米 | | 中南米 | | アジア・太 平洋 | | その他 | |
|----------|----------|------|----------------|------|------|------|-------|------|-------------|------|-----|------|
| | 金額 | 進捗率 | 金額 | 進捗率 | 金額 | 進捗率 | 金額 | 進捗率 | 金額 | 進捗率 | 金額 | 進捗率 |
| 保険料 | (1,185) | -10% | (1,213) | -17% | 38 | 27% | 132 | 6% | (142) | -6% | 0 | - |
| 営業利益 | 151 | 8% | 17 | 1% | (12) | -39% | 166 | 75% | (16) | -5% | (4) | -27% |
| 準備金(再保後) | (53,623) | -23% | (56,595) | -29% | 530 | 4% | 3,209 | 17% | (768) | -11% | 0 | - |
| 新契約価値 | (198) | -21% | (111) | -17% | (15) | -63% | (18) | -11% | (54) | -52% | - | - |

うち 欧州の主要国別内訳(2021年から2022年に向けての増加額と進捗率) (単位:百万ドル)

| | 英国 | | アイルランド | | ドイツ | | スイス | | スペイン | | イタリア | | 欧州 その他 | |
|----------|---------|------|---------|------|----------|------|---------|------|---------|------|-------|------|-----------|------|
| | 金額 | 進捗率 | 金額 | 進捗率 | 金額 | 進捗率 | 金額 | 進捗率 | 金額 | 進捗率 | 金額 | 進捗率 | 金額 | 進捗率 |
| 保険料 | 986 | -20% | 197 | -7% | 887 | -17% | 597 | -9% | 1,193 | -21% | 533 | -28% | 146 | 5% |
| 営業利益 | 83 | 61% | (18) | -21% | (3) | -1% | (38) | -12% | 24 | 19% | (63) | -70% | 32 | 18% |
| 準備金(再保後) | (9,318) | -25% | (5,819) | -17% | (33,835) | -56% | (1,670) | -9% | (2,689) | -22% | (494) | -4% | (2,770) | -14% |

(3)地域別展開に関する方針及びトピック

Zurich は、2022 年に入ってからこれまでに、以下の地域別事業展開の見直し等を公表してきている。

2022 年 1 月 3 日に、イタリアの伝統的な保険とユニットリンク保険の両方で構成される生命保険と年金のバックブックをポルトガルの保険会社 Gama Life に売却することを発表した。これにより、グループの信用リスクへのエクスポージャーの大幅な削減を図ることができ、約 12 億米ドルの資本を解放し、グループの SST 比率は 11%ポイント増加する、と述べた。

2022 年 5 月 20 日に、ロシアでの事業をユニットのチームの 11 人のメンバーに売却することに合意した、と発表した。新しい所有者の下で、ビジネスは別のブランドの下で独立して運営され、Zurich はもはやロシアでの事業運営を行わない。この取引により、新会社は保険の専門知識を蓄積した専門チームを保持し、ロシア市場へのサービスを継続することができる。なお、ジョイントストックカンパニー Zurich Russia の売却は、関連する規制当局の承認が必要となる。なお、Zurich Russia は損害保険会社で、ロシアの損害保険市場の約 0.3%を占めている。2021 年の総収入保険料は、国内顧客からの 300 万ドルを含め、約 3,400 万ドルだった。

2022 年 6 月 24 日に、ドイツの生命保険ポートフォリオ管理の大手スペシャリストである Viridium Holding AG に、ドイツの伝統的な生命保険バックブックを売却することに合意した、と発表した。これは、資本集約度と金利へのエクスポージャーをさらに削減するための売却であり、金利に対する感応度の低下により、ボラティリティから保護するために必要な資本が削減される。この取引により、SST 比率は 8%ポイント増加する、と想定されている。なお、この売却は規制当局の承認を条件とし、顧客及び販売パートナーに対する契約上の義務を変更するものではない。

2022 年 12 月 1 日に、イタリアの子会社の Zurich Investments Life S.p.A.が、ポルトガルの保険会社 Gama Life (Companhia de Seguros de Vida) に、伝統的な保険とユニットリンク保険の両方で構成される生命保険と年金のバックブックの売却を完了したことを発表した。

7 | (参考) Prudential

以前の Prudential plc は、2019 年 10 月に、アジアと米国における保険事業を展開する Prudential

plc¹¹と欧州における保険事業と投資管理事業を展開する M&G plc¹²に分割された。さらに、Prudential plc は、2021 年 1 月に、2021 年第 2 四半期に米国事業である Jackson Financial Inc.¹³をグループから分離することを決定した、と公表し、2021 年 9 月 20 日に分離を完了したと発表した（なお、Jackson National Group は、2022 年末の認容資産で、米国の生命保険・健康保険グループで第 9 位（2021 年末は第 8 位）となっている）。

現在の Prudential plc は、高成長のアジアとアフリカを中心に 23 の市場で、生命保険と健康保険及び資産管理事業を提供する会社となっている。アフリカでは 8 カ国（カメルーン、コートジボワール、ガーナ、ケニア、トーゴ、ウガンダ、ザンビア、ナイジェリア）で事業展開している。なお、M&G plc は英国と欧州を中心とした 28 の市場で保険事業と投資管理事業を展開している。

(1)地域別の業績－2022 年の結果－

アジア・アフリカの事業の中では、香港の位置付けが最も高く、シンガポールがこれに次いでいる。その他に、中国、インドネシア、マレーシアの位置付けが高くなっている。

生命保険事業(Long-Term Business Operation)等の地域別内訳(2022年)

(参考)

| | 全体 | | アジア&アフリカ | | 資産管理(Eastspring) | | その他 | | M&G plc | Jackson Financial |
|-------|---------|------|----------|------|------------------|-----|-------|------|---------|-------------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 保険料 | 23,344 | 100% | 24,217 | 104% | — | — | — | — | 6,507 | 132 |
| 営業利益 | 3,375 | 100% | 3,846 | 114% | 260 | 8% | (731) | -22% | 529 | 7,068 |
| 資産 | 165,942 | 100% | 162,116 | 98% | — | — | 3,826 | 2% | 191,560 | 311,058 |
| EEV | 42,184 | 100% | 38,857 | 92% | — | — | 3,327 | 8% | — | — |
| 新契約利益 | 2,184 | 100% | 2,184 | 100% | — | — | — | — | — | — |

※ 保険料は「Gross premium earned」で保険全体の数値

営業利益は、Prudential plcは「Adjusted operating profit」、M&Gは「Adjusted operating profit before tax」

Jackson Financialは「Pretax income (loss) attributable to Jackson Financial Inc」

資産は会社全体の数値

EEVの「その他」は、資産管理及びその他の合計数値

うち アジアの主要国別内訳(2022年)

| | 中国 | | 香港 | | インドネシア | | マレーシア | | シンガポール | | その他 | |
|----------|-------|------|--------|-----|--------|-----|-------|-----|--------|-----|--------|-----|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 |
| 保険料 | N.A. | N.A. | 8,792 | 36% | 1,590 | 7% | 1,843 | 8% | 6,540 | 27% | 4,579 | 19% |
| 営業利益 | 368 | 11% | 1,036 | 32% | 343 | 11% | 364 | 11% | 678 | 21% | 1,057 | 33% |
| 保険契約者負債等 | N.A. | N.A. | 60,880 | 41% | 3,648 | 2% | 8,231 | 6% | 31,197 | 21% | 18,995 | 13% |
| EEV | 3,259 | 7% | 16,576 | 35% | 1,833 | 4% | 3,695 | 8% | 6,806 | 14% | 6,688 | 14% |
| 新契約利益 | 387 | 15% | 384 | 15% | 125 | 5% | 159 | 6% | 499 | 20% | 630 | 25% |

(2)地域別の業績－2021 年との比較－

調整済み営業利益は、一定為替レートベースで 8%（実際の為替レートベースでは 4%）増加して 33 億 7,500 万ドルになった。これは、保険及び資産運用事業からの一定為替レートベースでの調整済み営

¹¹ 分離後の Prudential plc は、英国に本社を置き、ロンドン証券取引所で premium listing され、香港で primary listing され、ニューヨークとシンガポールに上場している会社となる。また、英国又は欧州の顧客を持たないため、ソルベンシー II 制度の対象外となる。

¹² M&G plc は持株会社であり、その子会社の一部は、適宜、PRA（健全性規制機構）及び FCA（金融行為監督機構）によって規制されている。M&G plc は Prudential Assurance Company Limited の親会社である。

¹³ Jackson Financial Inc. (JFI) は、米国の持株会社で、Jackson Holdings LLC (JHLLC) の直接の親会社となる。JHLLC の間接的な完全所有子会社に、Jackson National Life Insurance Company 及び PPMAmerica.Inc が含まれる。

業利益の 6%（実際の為替レートベースでの 2%）の増加と、一定為替レートベースで、中心的なその他の収入と支出の 26%（実際の為替レートベースでの 28%）の改善を反映している。これらは、リストラ及び IFRS 第 17 号経費の増加によって相殺された。

アジア・アフリカの事業について、2021 年との比較では、インドネシアを除くと、各地域の営業利益は進展している。ただし、2021 年のインドネシアの業績は概ね 2 桁のマイナス進展となっている。

生命保険事業 (Long-Term Business Operation) 等の地域別内訳

(参考)

(2021 年から 2022 年に向けての増加額と進展率)

(単位: 百万ドル)

(単位: 百万ポンド)

(単位: 百万ドル)

| | 全体 | | アジア&アフリカ | | 資産管理 (Eastspring) | | その他 | | M&G plc | | Jackson Financial | |
|-------|----------|------|----------|------|-------------------|------|---------|------|----------|------|-------------------|------|
| | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 |
| 保険料 | (873) | -4% | 0 | 0% | — | — | — | — | 1,723 | 36% | (16) | -11% |
| 営業利益 | 142 | 4% | 137 | 4% | (54) | -17% | 59 | -7% | (192) | -27% | 3,283 | — |
| 資産 | (33,160) | -17% | (31,028) | -16% | — | — | (2,132) | -36% | (27,574) | -13% | (66,501) | -18% |
| EEV | (5,171) | -11% | (5,789) | -13% | — | — | 618 | 23% | — | — | — | — |
| 新契約利益 | (342) | -14% | (342) | -14% | — | — | — | — | — | — | — | — |

うち アジアの主要国別内訳 (2022 年) (2021 年から 2022 年に向けての増加額と進展率)

(単位: 百万ドル)

| | 中国 | | 香港 | | インドネシア | | マレーシア | | シンガポール | | その他 | |
|----------|------|------|----------|------|--------|------|-------|------|---------|------|---------|-----|
| | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 | 金額 | 進展率 |
| 保険料 | N.A. | N.A. | (1,240) | -12% | (134) | -8% | (57) | -3% | 294 | 5% | 264 | 6% |
| 営業利益 | 25 | 7% | 61 | 6% | (103) | -23% | 14 | 4% | 15 | 2% | 125 | 13% |
| 保険契約者負債等 | N.A. | N.A. | (18,483) | -23% | (609) | -14% | (429) | -5% | (3,164) | -9% | (1,910) | -9% |
| EEV | 145 | 5% | (4,884) | -23% | (404) | -18% | (146) | -4% | (926) | -12% | 426 | 7% |
| 新契約利益 | 35 | 10% | (352) | -48% | 0 | 0% | (73) | -31% | (24) | -5% | 72 | 13% |

なお、アジア各国の営業利益の推移及び各国・地域における市場ランキングは、次ページの図表の通りとなっている。

営業利益の地域別内訳(アジアの主要国)

(単位:百万ドル)

| | 2019年 | | 2020年 | | 2021年 | | 2022年 | | 市場 ランキング |
|--------|-------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|-------------|
| | | 進展率 | | 進展率 | | 進展率 | | 進展率 | |
| 中国 | 219 | 15% | 251 | 15% | 343 | 57% | 368 | 7% | 3 |
| 香港 | 734 | 24% | 891 | 21% | 975 | 33% | 1,036 | 6% | 2 |
| インドネシア | 540 | -3% | 519 | -4% | 446 | -17% | 343 | -23% | 1 |
| マレーシア | 276 | 7% | 309 | 12% | 350 | 27% | 364 | 4% | 1 |
| シンガポール | 493 | 12% | 574 | 16% | 663 | 34% | 678 | 2% | 3 |
| 台湾 | 74 | 9% | 85 | 15% | 94 | 27% | 93 | -1% | 1 |
| タイ | 170 | 13% | 210 | 24% | 236 | 39% | 266 | 13% | 6 |
| ベトナム | 237 | 19% | 270 | 14% | 317 | 34% | 327 | 3% | 2 |
| フィリピン | 73 | 28% | 95 | 30% | 110 | 51% | 112 | 2% | 1 |
| その他 | 70 | 3% | 175 | 150% | 175 | 150% | 259 | 48% | - |
| 長期契約合計 | 2,886 | 12% | 3,379 | 17% | 3,709 | 29% | 3,846 | 4% | - |

※ Annual Report 2022からの資料に基づいている。

市場ランキングは、以下による。

中国本土(業界共有情報のデータからの外国の合併事業のみの2022年の新契約標準保険料に基づく)、香港(香港保険局からの2022年のPHKL総保有保険料に基づく)、インドネシア(インドネシア生命保険協会の暫定結果の2022年の加重新保険料に基づく)、マレーシア(Takaful が 100% である場合の結合ベース。2022 年の新契約 APE (年換算保険料)に基づく。従来契約についてはマレーシア生命保険協会、Takaful 契約については Insurance Service Malaysia のデータに基づく)、シンガポール(シンガポール生命保険協会が2022年に報告した加重新契約保険料に基づく)、インド(インドで事業を行う民間保険会社の2022年の個人加重保険料に基づく)、台湾(台湾保険協会からの2022年通年のAPEデータに基づく)、ベトナム(Vietnam Actuarial Networkによる共有データから収集された2022年通年のAPEデータに基づく)、ラオス(Axco保険市場からの2021年の総収入保険料に基づく)、フィリピン(保険委員会のデータからの2022年の最初の9か月の加重初年度保険料に基づく)、カンボジア(カンボジア保険協会からの2022年通年の調整済みAPEに基づく)、タイ(タイ生命保険協会からの2022年の加重新契約保険料に基づく)、ミャンマー(ミャンマー保険協会からの2022年の最初の9か月間のミャンマーで事業を行う外国保険会社のAPRIに基づく)。

(3)地域別展開に関する方針及びトピック

Prudential plc は、2022 年以降に、Jackson Financial Inc.の分離に加えて、以下の地域別展開の見直し等を行ってきている。

- ・ 2022 年 4 月 5 日に、インドネシアでグローバル保険会社として初めて、シャリア生命保険事業を行う Prudential Syariah を設立すると発表した。
- ・ 2022 年 4 月 26 日に、シンガポールに本拠を置くデジタルヘルス企業の Nervotec と提携し、人々が日常的に健康とストレスレベルをより適切に管理および監視できるようにする、と発表した。
- ・ 2023 年 1 月 26 日に、マカオ特別行政区からマカオに香港事業の支店を設立する承認を受けたと発表した。マカオが加わることで、Prudential はアジアとアフリカの 24 の市場で存在感を示すことになる。

4—まとめ

以上、欧州大手保険グループの 2022 年の保険事業について、生命保険事業を中心に、地域別の事業展開の状況について報告してきた。ここで、今一度欧州大手保険グループの状況を総括するとともに、日本の生命保険会社への示唆について考えてみる。これまでのレポートの繰り返しになる部分も多いが、この 1 年間の状況を踏まえて改めて述べておく。

まずは、ここまでの各社の地域別事業展開の状況をまとめると、次ページの図表の通りとなる。

欧州大手保険グループの生命保険(保障・貯蓄)・医療事業の主要国等でのプレゼンス(2023年3月末現在)

| | AXA | Allianz | Generali | Aviva | Aegon | Zurich | Prudential plc |
|---------|-------------|---|-----------|-------|--------------------------------------|------------------------|---|
| フランス | 3位(8.4%) | ○ | 8位(5.5%) | —(売却) | — | —(損保のみ) | — |
| ドイツ | 8位(3.4%) | ○ | 3位(7.1%) | — | — | ○ | — |
| イタリア | 9位(3.9%) | ○ | 1位(19.4%) | —(売却) | — | ○ | — |
| 英国 | ○ | —(損保のみ) | — | ○ | ○ | ○ | — |
| オランダ | ○ | ○ | — | —(売却) | ○ | △(健保) | — |
| スイス | 4位(7.8%) | ○ | ○ | — | — | ○ | — |
| スペイン | 9位(3.1%) | ○ | ○(2.9%) | —(売却) | ○ | ○ | — |
| トルコ | △(健保) | ○ | ○ | —(売却) | —(売却) | △(健保) | — |
| 米国 | —(AXA XL) | 19位 (Allianz Life) | —(売却) | — | 15位 (Aegon USA (Transamerica)) | ○(Zurich Amer Life) | (注) |
| オーストラリア | — | ○ | — | — | — | ○ | — |
| 日本 | 9位(5.0%) | ○ | — | — | —(売却) | ○ | — |
| 韓国 | —(損保のみ) | —(売却) | — | — | — | — | —(売却) |
| 台湾 | —(売却) | ○ | — | —(売却) | — | — | 1位 |
| 中国 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 3位 |
| 香港 | 7位(5.0%) | — | ○ | —(売却) | — | ○ | 2位 |
| インド | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 3位 |
| インドネシア | 2位(8.7%) | ○ | ○ | —(売却) | — | ○ | 1位 |
| タイ | 5位(7.2%) | ○ | ○ | — | — | — | 6位 |
| フィリピン | 6位(8.6%) | ○ | ○ | — | — | — | 1位 |
| マレーシア | —(売却) | ○ | ○ | — | — | ○ | 1位 |
| シンガポール | —(売却) | — | — | ○ | — | —(売却) | 3位 |
| ベトナム | — | — | ○ | —(売却) | — | — | 2位 |
| ブラジル | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | — |
| アルゼンチン | — | — | ○ | — | — | ○ | — |
| メキシコ | 12位(2.0%) | ○ | — | — | — | ○ | — |
| アフリカ | モロッコ、ナイジェリア | エジプト、モロッコ、ガーナ、カメルーン、ナイジェリア、セネガル、コートジボアール、マダガスカル | — | — | — | — | ケニア、ガーナ、ウガンダ、ザンビア、ナイジェリア、コートジボアール、トーゴ、カメルーン |

(※) 損害保険事業や資産管理事業を含めれば、各社ともさらに幅広い地域で活動している。

順位、市場シェアは、基本的には収入保険料(米国は認容資産)に基づいている。

また、以下の情報源において、公表された数値に基づいている。なお、同一国の①と②で対象年度が異なる場合もある。

プレゼンスがあって新契約を販売(○)、新契約を閉鎖(△)、数値はないのは、10位以内でない等の理由によるもの。N.A.は確認できていないもの。

AXA、enerali、Prudentialのシェアやランキング等の数値は、それぞれの会社の公表資料による。

なお、この図表にはないが、例えばAllianzはアフリカ地域へも積極的に進出している。

(注) Prudential Groupから分離されたJackson Natinal Group(Jackson Financial Group)は米国の第9位の生命保険・健康保険グループである。

1 | 市場の選別化の動き

各社の自国以外の地域への事業展開の方針等は必ずしも一様ではない。各社毎に、重点を置く事業種類等も考慮した上で、地域選定等に特徴を有した形になっている。その中には、積極的に海外進出するだけでなく、一旦進出した地域からの事業撤退等を行い、高成長市場や自社の強みが生かせる市場等に資源を集中していくケースも含まれている。

2022年に入ってからの動きは、これまでの動きと比べて、比較的落ち着いたものとなっていた。2022年にはそれまでに合意を得ていた取引が正式に完了したケースがいくつか見られたが、新しい買収や売却については、それまでに比べると少なくなったとの印象を受けるものだった。これは、COVID19の影響も一定程度あるとは想定されるものの、欧州の大手保険会社が、これまでに先行的に必要な対応を進めてきた結果、既に一次的にはほぼ一定の戦略的対応が図られたことを意味しているものと想定される。

ただし、市場環境が急激に変化していく中で、市場の選別化の動きについては、今後も引き続き絶えることなく、状況に応じて行われていくことになるものと推測される。

2 | 地域毎の展開スタンスや展開状況の違い

これまでの自国以外の保険先進国や新興国への進出を通じて、基本的には各社とも、自国以外での収益機会の拡大を目指してきており、実際にこれらの地域の多くで、着実に一定規模の収益を確保してきている。

(1) 欧州

まずは、EUの保険先進国においては、相互に参入しあって、お互いに有意な市場シェアの獲得にしのぎを削ってきている。ただし、これまでの経緯や各国の市場と特性等も反映して、各社ごとの特徴もみられ、各保険先進国での相互の進出状況も異なるものとなっている。さらには各社とも、近年は中東欧の新興国やトルコ等に積極的に注力してきていたが、これらについても、各社が特に注力する国については各社各様となっており、全ての会社が全ての国で一様に取り組んでいるわけではなく、既に市場撤退等の動きも見られている。

なお、ロシアにおいては、AXA、Allianz、Generali、Zurich等が保険事業の展開を行っていたが、その事業規模等は限定されていた。欧州大手保険グループは、2022年中に、新しい（再）保険契約の引受けを停止するとともに、ロシア事業の売却等を進めることで、ロシアからの事業撤退等を実施してきている。なお、併せて投資事業に関しても、各社ともロシアへの新規投資の停止や既存投資からの撤退等を公表し、実施してきている。

(2) 米国

米国においては、2019年にAXAがEquitableを売却して、米国の生命・貯蓄市場から撤退しているが、2021年にはPrudentialが子会社のJackson Nationalを完全に分離している。その意味では、今回取り上げた欧州大手保険グループ7社の中では、米国の生命保険市場においては、Allianz、Aegon及びZurichの3社のみが一定のプレゼンスを有する子会社を引き続きグループの中に保持していることになった。

改めて、米国は、巨大な魅力的な市場ではあるが、競争の激しい市場であり、自社の強みを生かした分野で成長を目指していくことの重要性を再認識させられる状況になっている。

(3) アジア・太平洋

アジア・太平洋においては、欧州大手保険グループは、基本的には積極的に事業展開を進めることで、収益機会を拡大させてきている。

ただし、一口にアジア・太平洋とはいっても、各市場への取組みについては各社各様である。日本、韓国、台湾、オーストラリア等の生命保険が既に高水準で浸透している国・地域においては、撤退ないしはそもそも進出をしていないケースも多く、これらの国での欧州大手保険グループのプレゼンスは必ずしも高いものとはなっていない。これらの国では、既にローカルの保険会社のプレゼンスが一定程度確固たるものになっていることや、韓国等では昨今の低金利下での過去の逆ざや契約の存在等が、これらの地域での事業展開やその継続を判断していく上で影響を与えている形になっている

ものと推測される。

これに対して、東南アジア諸国に対しては、今後の高成長が見込める高いポテンシャルを有する市場として、各社とも高い優先順位を与えて積極的に取り組んできている。これらの国々では、欧州保険グループ各社や Manulife や Sun Life 等の北米の大手生命保険グループが進出して、一定の市場シェアを確保して、その地位を高めてきていた。ただし、近年は、厳しい競争環境下で所期の収益の確保が難しくなっている等の理由から、こうした成長市場においても、市場によっては撤退を決断しているケースもいくつか見られており、事業の集中と選択がこのような成長市場においても必須になってきている状況が見てとれる。

一方で、中国やインドは、巨大なポテンシャルを有して、高い成長が見込める市場ではあるが、これまでの外資規制等の影響で、ローカルの国営等の保険会社が引き続き高い市場シェアを有している。これらの国では、外資規制の下で、外資系会社も、現地の企業との提携を進める中で、着実にその地位を築き上げてきてはいるものの、そのシェアは、東南アジア諸国における状況と比較すれば、いまだ低い水準にとどまっている。ただし、これらの国では、逐次外資規制等の緩和も行われてきていることから、各社ともこれらを絶好の機会と捉えて、市場シェアの拡大を目指していくことになるものと思われる。

なお、ミャンマーにおけるクーデターによる民主化から軍主導の政治への転換やスリランカにおける経済危機等、先のロシアも含めて、新興国等における事業展開においては、まさに政治・経済の状況変化によるカントリーリスクやこれらを背景にした監督当局による各種の規制方針の変化等に伴うリスク等も念頭に置いておく必要がある。

(4)中南米

ブラジル、メキシコ等の中南米諸国についても、今後成長が期待できる市場として、欧州保険グループ各社は注目してきている。ただし、これらの地域では、引き続きローカルの保険会社のプレゼンスが高い上に、外資系の会社としては、むしろ米国やカナダの会社が相対的に高いプレゼンスを有しており、欧州の保険グループのプレゼンスは Zurich 等を除けば高いとはいえ、現時点でのグループ全体の財務面への影響もいまだ限定的な状況にある。

(5)アフリカ

アフリカについては、人口が増加しており、将来的には大きな成長が期待できる市場ではあるが、欧州大手保険グループの中では、Allianz や Prudential が積極的な取り組み姿勢を示してきていることに加えて、AXA が一定のプレゼンスを有している。南アフリカのようにローカルの保険会社が高い競争力を有して、発展している市場もあるが、いまだ未開拓の市場が数多くある中で、各社はアフリカ諸国の経済・社会の成長の動向を注視する中で、事業展開の機会を探っている状況にあるものと思われる。

3 | グローバル展開に伴うリスクの分散化や業績の安定性への寄与

前年からの地域別の進展率等については、各社毎の異なる地域展開の方針及び地域毎の市場環境の違い等を反映して、必ずしも一様ではない。ただし、これらを合算したグループ全体の数値は、分散効果

も一定程度見られる中で、比較的安定した形になっている。

2020年においては、損害保険事業を中心に、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が無視できないものとなっていたが、その影響の度合い等については、事業部門や地域等によって異なるものとなっていた。COVID-19の直接的な財務面への影響は、一部の特殊な状況下にあった国・地域等を除けば、2021年以降は一般的には比較的落ち着いたものとなっているが、保険金等の請求に関連しての課題等も残されており、引き続き一定程度の影響は残る形になっている。

昨今は、金融市場がグローバルベースで相互にリンクして、1つの地域での影響が他の地域に与える影響も大きくなってきており、それとの関連で保険会社の収益状況も地域毎に完全には独立しているとはいえない要素が高まってきている傾向もみられる。ただし、グローバル展開は基本的には各国独自の要素に基づく影響の程度を緩和し、安定化に寄与する意味合いを引き続き一定程度有していくものと思われる。

4 | 日本の生命保険会社への示唆

昨今、日本の生命保険会社も、アジア各国での現地企業との合弁会社を通じた積極的な事業展開に加えて、米国や豪州の会社の買収等を通じて、先進国も含めた海外での生命保険事業の展開を積極化させてきている。ただし、欧州大手保険グループが以前からより積極的に海外事業展開に取り組んできて、一定の市場においては有意なプレゼンスを築き上げてきていることに比べれば、日本の生命保険会社の海外事業展開やそのグループの中におけるプレゼンス、さらにはそれぞれの事業展開地域におけるプレゼンスは、一部の会社のケースを除けば、まだまだ高いといえる状況にはない。

日本大手生命保険会社4社の海外事業展開(2023年3月末現在)

| | 日本 | 第一 | 明治安田 | 住友 |
|---------|----|---------------------------|---------|----|
| 米国 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| オーストラリア | ○ | ○ | — | — |
| 中国 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| インド | ○ | ○ | — | — |
| インドネシア | ○ | ○ | ○(売却予定) | ○ |
| タイ | ○ | ○ | ○ | — |
| ミャンマー | ○ | ○ | — | — |
| シンガポール | — | — | — | ○ |
| ベトナム | ○ | ○ | — | ○ |
| その他 | — | カンボジア ニュージーランド (英国) | ポーランド | — |

日本の大手各社が公表している経営計画等によれば、今後海外事業からの収益を拡大していく方向性が示されてきている。この際、グループでのガバナンスやリスク管理、有効な資本政策のあり方等いろいろな意味で、欧州の大手保険グループの先行的な事例に学ぶべきことは多いものと考えられる。

ただし、欧州大手保険グループの海外事業戦略においては、一方的に事業地域の拡大を図るだけではなく、各国の保険市場の特性等を分析する中で、収益状況や成長可能性等を見極めながら、コア事業となりうるものに集中し、コアでない市場からは速やかに撤退する等の方針が明確に示されており、実際にその方針が実行されてきている。

単純な規模やプレゼンスの拡大を目指して、グローバル展開を進めるのではなく、自社の強みを十分に認識した上で適時適切な判断を行っていくことが求められてきている。既存保険会社の買収を通じて海外事業を展開していく場合においては、買収に伴うプレミアムに見合うリターンをいかに獲得していくのかについて、会社の方針・戦略をより一層明確化していくことが重要になってきているものと思われる。

また、海外事業展開を進めていく上では、買収先や出資先の会社の経営陣等の現地事業に精通した人材の確保に加えて、会社自体に、それぞれの国や地域の社会・文化的な状況等に応じて柔軟に対応できるコミュニケーション能力等を有するグローバルな人材をいかに育成していくのかということが重要な課題になってきている。

いずれにしても、海外のグループ会社を実効的に管理していくための堅固なグループガバナンス体制の構築等が喫緊の課題になってきている。

加えて、グローバルに事業展開を進めていく上では、国際的な保険資本規制や国際的な保険会計基準の適用への対応も問われてくることになる。日本と米国はともかくとして、欧州やアジア・太平洋地域においては、基本的にはこうしたグローバルな規制の動きに対応したローカルの規制の見直し等も行われてきている。

日本の生命保険会社は、こうした世界における監督規制の動向及びそれらを通じての日本の監督規制への影響も踏まえつつ、海外事業の積極的な展開に向けた戦略や体制を構築していくことが求められてきている。

以上、ここまで、2022年における欧州大手保険グループの海外事業展開の状況を報告するとともに、これらを踏まえての日本の生命保険会社にとっての示唆について考えてきた。

欧州大手保険グループは、ある意味、最も先駆的にこれらの課題に取り組んできていることから、今後もこうした会社の戦略や方針は、今後のグローバル展開を考えていく日本の生命保険会社にとって、いろいろな点で大変参考になるものがあると思われる。今後とも、その動向については引き続き注視していくこととしたい。

以 上